
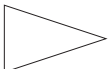


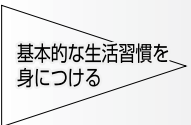
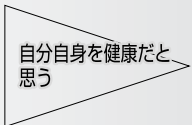
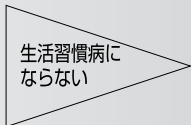
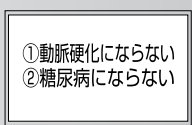
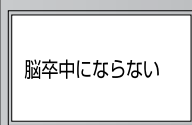
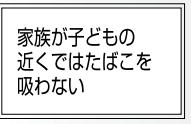
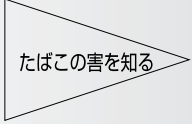
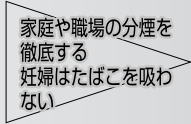
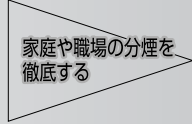
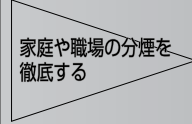
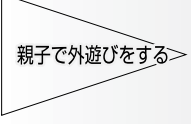
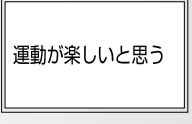
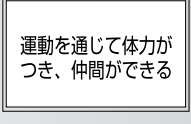
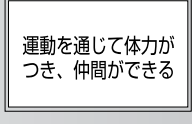
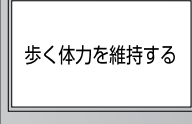
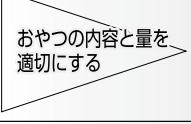
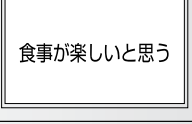
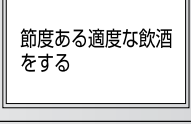
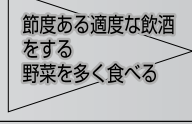
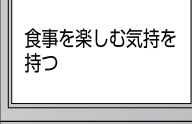
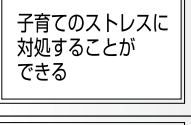
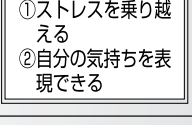
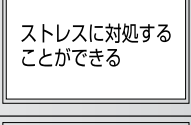
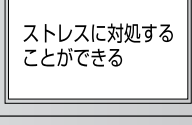
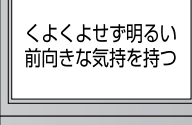
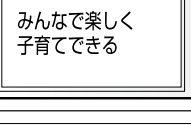
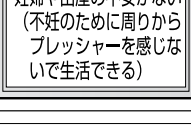
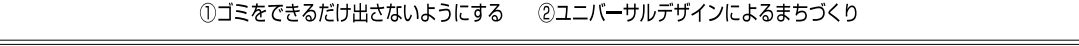
第6章●重点的な取り組み

1 重点的な取り組み

中間評価年（平成18年）までに重点的に取り組む目標を各世代で絞り込み、具体的な行動計画の下に取り組むを行います。

行政・地域社会・個人での現在の取り組み状況と新規事業、および今後の方向性を示しました。

◎重点項目関連図  は、選ばれた重点項目であり、 を補足することで年代を通じた取り組みを目指します。

	乳幼児期	学童・思春期	青年期	壮年期	高齢期
からだ	 基本的な生活習慣を身につける	 自分自身を健康だと思おう	 生活習慣病にならない	 ①動脈硬化にならない ②糖尿病にならない	 脳卒中にならない
たばこ	 家族が子どもの近くではたばこを吸わない	 たばこの害を知る	 家庭や職場の分煙を徹底する 妊婦はたばこを吸わない	 家庭や職場の分煙を徹底する	 家庭や職場の分煙を徹底する
運動	 親子で外遊びをする	 運動が楽しいと思う	 運動を通じて体力が付き、仲間ができる	 運動を通じて体力が付き、仲間ができる	 歩く体力を維持する
食生活	 おやつの内容と量を適切にする	 食事が楽しいと思う	 節度ある適度な飲酒をする	 節度ある適度な飲酒をする 野菜を多く食べる	 食事を楽しむ気持を持つ
こころ・ストレス	 子育てのストレスに対処することができる	 ①ストレスを乗り越える ②自分の気持ちを表現できる	 ストレスに対処することができる	 ストレスに対処することができる	 くよくよせず明るい前向きな気持を持つ
その他	 みんなで楽しく子育てできる		 妊婦や出産の不安がない (不妊のために周りからプレッシャーを感じないで生活できる)		
環境	 ①ゴミをできるだけ出さないようにする ②ユニバーサルデザインによるまちづくり				

2 主体別の役割

生涯を通じた健康づくりを進めるために、健康づくりの主体である個人を取り巻く家庭や地域社会、また個人の豊かな生活を実現するための施策を実施する行政それぞれが健康づくりの役割を担い、健康なまちづくりに取り組むことが必要です。それぞれの役割を次のようにとらえます。

■ 個人（市民）の役割：主体的な生活習慣づくり

健康は自分自身の財産です。一人ひとりが、自ら健康であると感じるとともに、自らの責任と価値判断により主体的に健康づくりを行うことが必要です。健康づくりは一人で取り組むだけでなく、家族や仲間と一緒に楽しく取り組みことも大切です。身体健康だけでなく、自分なりの目標を持って楽しくいきいきと毎日を過ごし、人とのふれあい・交流の中から、健やかで充実した心豊かな暮らしを送ることを心がけましょう。

■ 家庭の役割：個人の生活習慣を支える

家庭は食生活などの基本的な生活習慣の確立や、心のやすらぎのために重要な役割を持っています。一緒に食卓を囲むなどの家族団欒を通して、いきいきと健康に生活するための活力を養うことが期待できます。

■ 地域（社会）の役割：個人を支える地域（社会）づくり

個人は地域社会の中で様々な人と関わりながら暮らしています。個人が健康づくりを継続して行なうには、地域での健康づくりに関する様々な情報やネットワークなどが必要です。これらの個人の健康づくりを支える役割を、地域を構成する様々な団体や機関、施設等が協働して担うことが必要です。

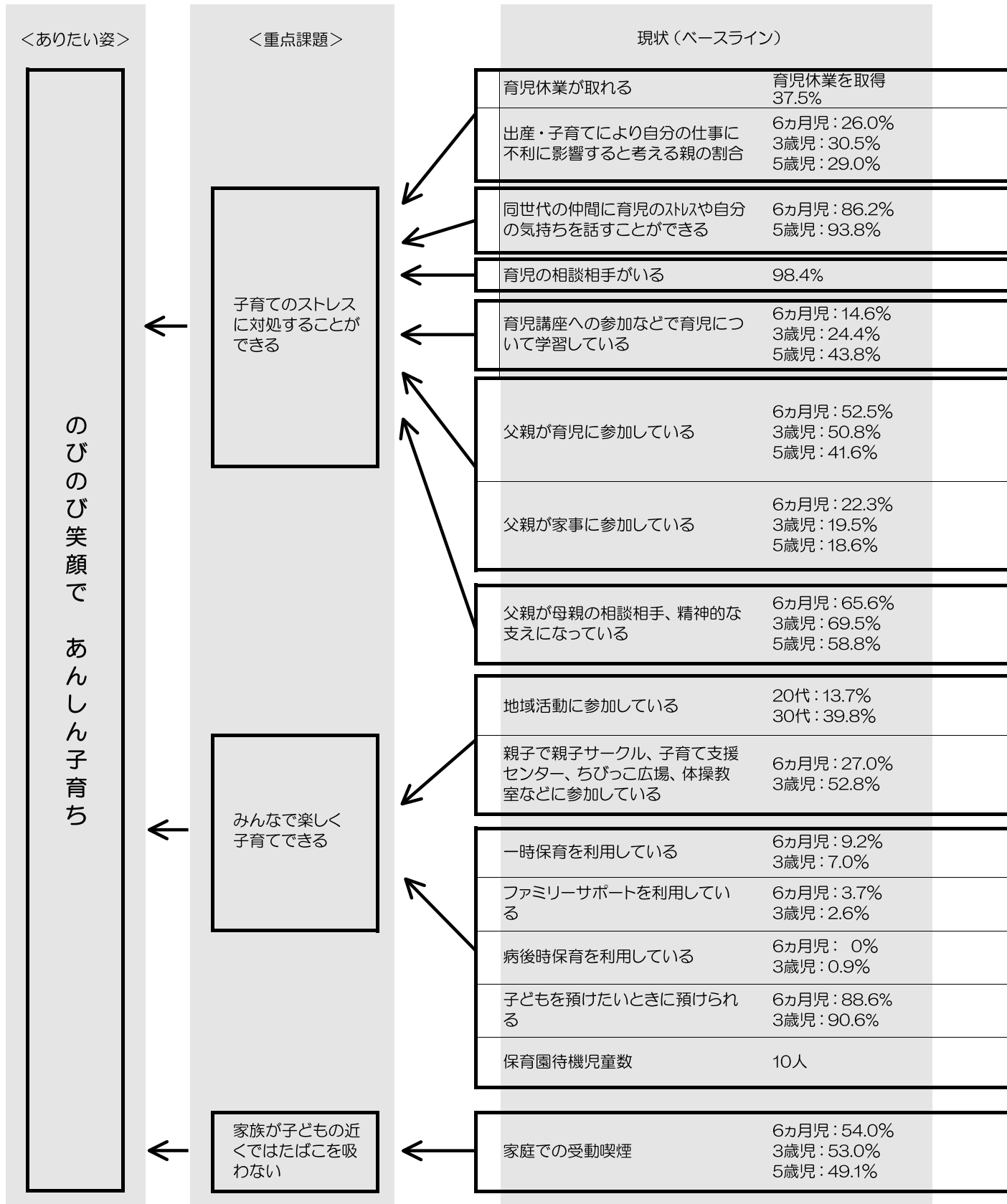
また、学校・コミュニティーセンターなど、個人が地域活動を行う場としての市有施設は、地域を構成する要素として位置づけます。

■ 行政の役割：健康を支える環境づくり

個人の行動を支える条件整備を進めるため、個人が健康づくりを行なうために必要な場や機会、情報の提供を行ないます。また、関係機関・団体との連携の仕組みづくりやネットワークの支援、健康なまちづくりに必要な環境を整備します。

3 各世代の重点取り組み

乳幼児期 0～6歳



2014年の目標

↑

↓

→

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↓

0%

生まれてから、小学校に入学するまでのこの年代は、一生の中で最も成長が著しい時期です。両親や家族の中で愛情を受けながら人生の基盤となるゆたかな心を育み、健康な生活を送るための生活習慣や社会性を身につけていきます。子どもの健やかな成長には、育児を担う人が心にゆとりをもった安定した環境で子育てできることが大切です。

<家族・地域・行政・関係機関ができること>

家族ができること

- 子育てを楽しむ気持ちを持つ
- 子どもを預けたい時には預けよう
 - ・市の保育サービスや施設を活用しよう
- 講座や事業に参加して子育てについて学ぼう
- 周囲の人に子育てのストレスや自分の気持ちについて話そう
- 地域行事に参加して親同士、子ども同士の交流をしよう
- 悩みごとは一人で抱え込まず、周りの人や専門機関等に相談しよう
- 夫婦で子育てについて話し合いをするなど、家族でコミュニケーションを持つ
- 父親は育児や家事に参加しよう
- 受動喫煙について害を知り、適切な行動をとろう
 - ・子どもがいるところではたばこを吸わない
 - ・たばこの煙があるところへ子どもを連れて行かない
 - ・たばこの害について子どもに伝える

地域ができること

- 育児休業・看護休暇がとれるようにしよう
- 子育て支援事業・育児講座に参加しやすいように配慮しよう
- 地域の皆が気軽に声をかけあおう
- 地域行事や施設内など、子どもがいるところでの分煙を徹底しよう
- 職場の分煙をすすめよう

行政・関係機関ができること

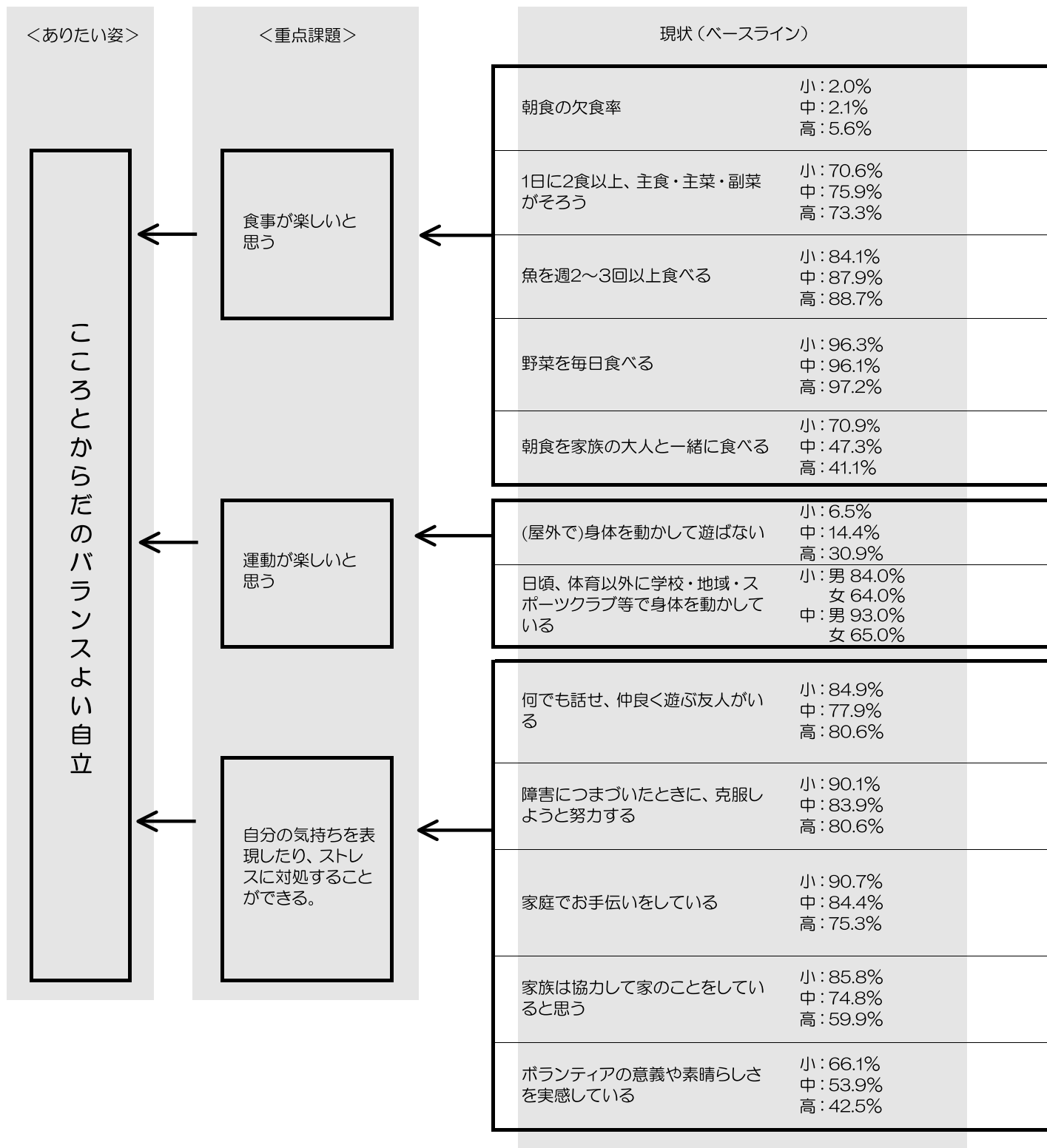
- 子育ての経験者から体験談を聞く機会をつくる
- 保育付き事業の実施
- 保育ボランティアの育成
- 子育て支援の意識啓発
- 地区コミュニティセンターでの親子の居場所づくりと地域の子育て支援
- 地域の子育て支援の連携
- 親子で参加できる地域行事の増加
- 父親が参加できるイベントの増加
- 虐待予防についての情報提供
- 子育て支援事業等の情報提供
- 受動喫煙の害と分煙についての情報提供
- 施設分煙の推進

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
子育てのストレスに対処することができる(子育てを学ぶ(虐待を含む) / 地域のみんなが気楽に声をかけられる)	地区コミュニティセンターに親子の居場所をつくる。(遊具や赤ちゃんのいる場所などの施設と、職員や地域ボランティアなどの受け入れ態勢整備・地域の子育て支援の連携)	既存	コミュニティセンター多目的活用の拡充	生涯学習課	拡充	遊具の整備 乳幼児の受け入れ体制整備
			子育て支援地区活動	母子保健推進員協議会(健康課)	拡充・連携	地域の子育て支援に関わる人が連携し支援体制を作る。
			主任児童委員の相談活動	主任児童委員会・児童福祉課	拡充・連携	
			保育園地域子育て支援センター	児童福祉課	拡充・連携	
			保育園地域活動事業	児童福祉課	拡充・連携	
		新規	(仮)コミュニティセンター乳幼児親子の居場所づくり事業	コミュニティセンター・母子保健推進員協議会・主任児童委員会・保育園等・健康課	新規・連携	
	地域で親子が参加できる事業の増加(講座の増加と地区を越えての参加受け入れ)	既存	子育て支援地区活動	母子保健推進員協議会(健康課)	拡充	育児講座の回数増加
			家庭教育活動事業(親も育つ子育てセミナー)	中央公民館	拡充	家庭教育活動事業(親も育つ子育てセミナー地区開催)の増加
			保育園地域子育て支援センター	児童福祉課	拡充	育児講座の増加
			保育園地域活動事業	児童福祉課	拡充	育児講座の増加
			幼稚園子育て支援事業	長岡市幼稚園協会	拡充	事業の増加
			コミュニティセンター事業	生涯学習課	拡充	地区コミュニティセンターに地区外利用者を受け入れる。地区で育児講座を実施する。
	父親と一緒に参加できるイベントを増やし、学習要素を盛り込む。	既存	ちびっ子広場	児童福祉課	拡充	父も参加できる内容を増やし、子育ての情報提供を盛り込む。
			子育てフェスティバル	児童福祉課	拡充	
			保育園地域子育て支援センター	児童福祉課	拡充	
			保育園地域活動事業	児童福祉課	拡充	
			幼稚園子育て支援事業	長岡市幼稚園協会	拡充	
			助産師会イベントいいお産の日	助産師会	継続	
			母と子のつどい	母子保健推進員協議会(健康課)	拡充	
			ブックスタート	企画課(中央図書館・健康課)	拡充	
パパママサークル	健康課	充実	第2子以降にも対象拡大			
虐待予防についての情報提供	既存	児童虐待防止ネットワークの構築(長岡の子どもを虐待から守る連絡会の設置)	児童福祉課	充実	児童虐待の予防、防止対策及び意識啓発の充実	
		子どもの虐待防止ネットワーク学習会・講座	子どもの虐待防止ネットワーク	継続	学習会・講座の継続	
子育て支援事業・育児講座の情報提供を広くわかりやすくおこなう。	新規	ヘルシープラン21ホームページ作成	健康課	新規・連携	子育て支援事業・育児講座に関わる機関がホームページを作成し、リンクしあうシステムを作る。	
		保育園・幼稚園にインターネットパソコンの配備推進	児童福祉課・保育園・長岡市幼稚園協会(各幼稚園)	新規・連携	地域子育て支援センター事業・地域活動事業のホームページ作成のため保育園・幼稚園にインターネットパソコンの配備を推進する。	
		ヘルシープラン関連事業について健康センターを利用しやすくする。	健康課	新規・連携	事業目的により利用しやすいようにする。(特に世代の特性として乳幼児期の子や親の集まりなど)	

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み				
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容
(母親が子どもを預けたいときに預けられる／子育てをすることで社会的な不利益をこうむらない) みんなで楽しく子育てできる	一時保育・ファミリーサポート・乳幼児健康支援デイサービス・乳幼児一時預かり等の基盤整備	一時保育・ファミリーサポート・乳幼児健康支援デイサービス・乳幼児一時預かり等の基盤整備	児童福祉課	拡充	次世代育成支援対策(少子化対策)地域行動計画の策定の中で検討実施する。
		子育ての経験者から体験談を聞く機会をつくる	子育てサロン シャベリ場	長岡子育てライン三尺玉ネット	充実
	マタニティ・新米・転入ママ講座		長岡子育てライン三尺玉ネット(児童福祉課と協力)	充実	
	保育園地域活動事業		児童福祉課	充実	
	保育園地域子育て支援センター		児童福祉課	充実	
	主任児童委員の相談活動		主任児童委員会・児童福祉課	充実	体験談を聞き子育て支援情報を地域の人に伝える。
	母子保健推進員の家庭訪問		母子保健推進員協議会(健康課)	充実	
	保育を設ける事業の増加	保育付事業の実施	各課	拡充	事業に保育を設ける。
		各学校のPTA事業に保育を実施	市PTA連絡協議会(各PTA)	拡充	事業に保育を設ける。小中PTAに保育付事業の増加を呼びかける。(長岡市PTA連絡協議会)
	保育ボランティアを育成する	長岡市ファミリーサポートセンター会員養成講習会	児童福祉課	継続	全市的な活動の展開と事業の定着化を推進する。
		保育ヘルパー養成講座(講座等で保育を実施する保育ヘルパーの養成)	15年度は保育サークルたんたん企画課で実施。	継続	今後は児童福祉課・生涯学習課・社会福祉協議会などの関係課を含め連携して支援していくことが必要。
	子育て支援(育児休業の取得を含む)について市民や企業の意識を啓発していく	ジェンダー講演会・フォーラム等	男女(ひと)が共に生きる社会を進めるF&Mながおか市民会議	継続・連携	子育て支援(育児休業の取得を含む)について市民や企業の意識を啓発していく。
		新規 育児休業・看護休暇の取得促進	商業振興課		育児休業・看護休暇を取得しやすいようにする。

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み				
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容
家族が子どもの近くではたばこを吸わない	受動喫煙の害と分煙についての情報提供をする	既存 受動喫煙防止対策	健康課	拡充	市政だよりの掲載内容・回数を増やす。
		母子健康手帳交付	健康課	充実	分煙について情報提供をする。
		新規 受動喫煙防止対策	健康課(児童福祉課、保育園、幼稚園、老人クラブ、市PTA連絡協議会)	拡充	保育園や幼稚園の保護者会や保健だよりで分煙について情報提供をする。老人クラブや市PTA連絡協議会の広報で分煙についての情報提供をする。
		乳幼児健診・成人の健診での情報提供	健康課	拡充	問診で分煙について意識付けをする。
	施設の分煙の推進	既存 受動喫煙防止対策	健康課	拡充	多くの人が集まる場の分煙をする。

学童・思春期 7~18歳



2014年の目標

0%
↑
↑
↑
↑
↓
↑
↑
→
↑
↑
↑

小学校の入学から高校を卒業するまでのこの年代は、心も身体も成長めまぐるしい時期です。規則的な生活習慣を身につけ、親や友人とのコミュニケーションをとりながら自分で考え、判断し、行動できるようになる大人への準備期間です。心身のバランスがとれた生活を子どもたちが自らおくれるように家族や地域で見守りましょう。

<自分・家族・地域・行政・関係機関ができること>

自分ができること
 ●外で元気に遊ぼう ●体を動かす遊びをしよう ●スポーツ教室や運動クラブに参加しよう ●いろいろなスポーツをやってみよう ●体育の授業に一生懸命取り組みよう ●車に頼らずに歩いたり、自転車に乗ろう ●体を動かすことを好きになろう ●朝ご飯をしっかり食べよう ●早食いせずにゆっくりと食べよう ●食事の準備や後片付けを手伝おう ●何でも好き嫌いなく食べよう ●自分で食事づくりをやってみよう ●食事の間食はやめよう ●食卓で今日あったことを家族と話そう ●食べ物がどのように生産されて食卓にのぼるか調べてみよう ●自分の好きなことを人に伝えてみよう ●学校であったことを家で話してみよう ●悪いことは悪いと言える勇気を持とう (嫌なことは嫌と言おう) ●友だちに嫌な気持ちを持った時、気持ちの通じる友だちと話をし解決しよう ●自分の好きなこと (夢中になれること) を見つけよう ●イベントなどに参加している人々と交流しよう

家族ができること
 ●家族で気軽にスポーツしよう ●時間を作って親子で楽しく遊ぼう ●子どもにはいろいろなスポーツを経験させよう ●競争ばかりでなく運動を楽しむ気持ちを育てよう ●1日1回以上家族で食卓を囲もう ●食事をしながら子どもの話を聞こう ●親子で食事づくりをしよう ●子どもに自分にあった間食の質と量を教えよう ●食事の時間は規則的にしよう ●旬の食材を使った料理をつくろう ●食事の時はテレビを消そう ●主食・主菜・副菜の揃った食事をつくろう ●子どもの顔を見て話をしたり、話を聞くようにしよう ●親子で話し合う時間を持とう ●子どもを誉めて育てよう (けじめを大切に) ●家族揃って過ごす時間を持とう ●友だちとの話を聞こう ●いろいろなイベントへの参加を勧めよう

地域でできること
 ●遊び感覚の異年齢スポーツ塾を開催しよう ●家族で多種目できるスポーツ教室を開催しよう ●子どもが元気に安心して遊べる場をつくろう ●自由参加の誰でもできそうなイベントを開催しよう ●スポーツ教室やクラブの活動紹介をしよう ●外で遊ぶ子どもたちを見守ろう ●子どもたちがやりたいと思う運動を取り上げよう ●料理教室を開催しよう ●親子 (母と子、父と子) 料理教室 ●子ども料理教室 ●子どもに食物の生産・収穫体験の場をつくろう ●地域に子どもの居場所をつくろう ●子どもたちが参加しやすいイベントの開催 ●子どもたちが企画したイベントを開催する ●コミュニティセンターはいつでも気軽に立ち寄れる雰囲気をつくる ●地域みんなが交流できるイベントを開催する ●中高生の集える場をつくる

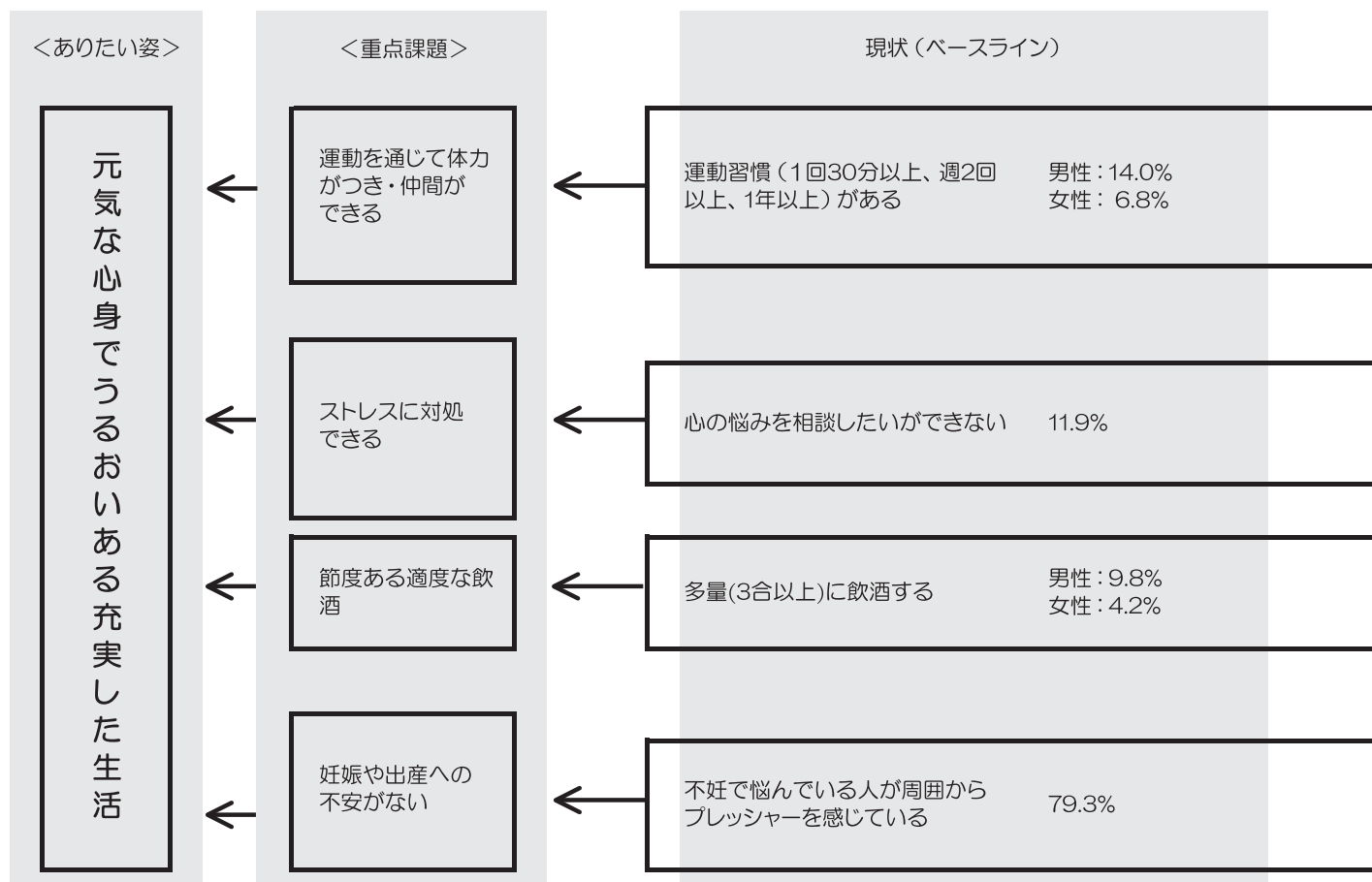
行政・関係機関ができること
 ●遊びやスポーツを楽しめる場 (機会) の提供 ●指導者育成・団体育成 ●運動についての意識啓発 ●子どもが主体的に企画し、参加できるレクリエーション活動 ●食育についての啓発 ●食に関心を持たせる働きかけをする (食の自己管理能力・生きる力をつけるために) ●バランス良く食べることや友達や家族と一緒に食べる・野菜づくりを体験する機会をつくる ●学校保健と地域保健の連携の強化 ●子ども自身の相互理解能力の向上を図る ●親教育の充実 ●子ども自身が主役になれる機会 (場所) をつくる ●相談援助についての情報提供と充実

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
食事が楽しいと思う	食育についての啓発 食に関心を持つ働きかけをする。 朝食は毎日食べる。 バランス良く食べることや友達や家族と一緒に食べる、野菜づくりの体験をする機会をつくる等に取り組む。	既存	学校給食推進活動(給食だよりの発行や栄養指導を含む)	学校教育課(各学校)	充実	食生活に関する教育の充実
			学校保健推進活動	学校教育課(各学校)	充実	食に関する内容を取りあげ食育を推進する。
			食環境整備推進事業	長岡健康福祉環境事務所	充実	食に関する学習の機会や情報提供、食環境整備
			キッズ健康教室	栄養士会長岡支部	拡充	多くの子どもが参加できる機会の増加と食育の啓発普及
			親子料理教室	食生活改善推進委員協議会	拡充	全地区実施と食育の啓発普及
			PTA活動	市PTA連絡協議会(各PTA)	PTA活動に盛り込む	講演会や家庭教育委員会活動、PTAだよりの発行等で親に対する食育の啓発普及
	家庭と地域との連携の強化	組織推進活動	学校教育課(各学校)	検討	既存の組織を生かし、子どもの健康問題について情報交換をし、その対策を検討する。	

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
運動が楽しいと思う	遊びやスポーツを楽しめる場(機会)の提供	既存	スポーツ教室・クラブ運営事業	長岡市体育協会	充実	子どもの主体性を取り入れ、多くの子どもが参加できる事業の開催とPR
			スポーツ少年団交流大会開催事業	長岡市体育協会	充実	
			長岡の人材教育(体育系)	学校教育課	充実	
			生涯スポーツ推進事業	スポーツ振興課	充実	
			地域活動事業	生涯学習課	充実	
			生涯学習推進大学	中央公民館	充実	
			公園整備、水辺プラザ整備事業	公園緑地課	充実	
	指導者育成・団体育成	既存	児童館運営事業	青少年育成課	充実	
			スポーツ少年団指導者育成事業	長岡市体育協会	充実	
	運動についての意識啓発	既存	長岡の人材教育体育系指導者研修会	長岡市体育協会	充実	
			体力テスト	学校教育課(各学校)	充実	
学校教育			学校教育課(各学校)	充実	身体を動かすことが気持ちいい楽しいと感じる学習の推進	

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み				
	行政・関係機関が できること	事業名	実施主体	方向性	内容
自分の気持ちを表現したり、 ストレスに対処することができる	子ども自身の相互理解能力の向上をはかる	学校教育	学校教育課(各学校)	充実	健康に生活するため知識と行動選択能力を身につけることは大切である。
	親教育の充実	家庭教育ノートの配布	学校教育課	継続	小1、中1に配布。PRの工夫
		家庭教育活動事業(親も育つ子育てセミナー)	中央公民館	継続・充実	子どもを取り巻く状況を知り、親の対応のしかたを学ぶ機会を充実する。
	子ども自身が主役になれる機会(場所)を作る	市民センター活動	市民センター	拡充	子どもが自由に使える居場所をつくり、企画や実施することをバックアップをする。
		子どもフェスティバル	青少年育成課	継続	子どもが企画し、実施することをバックアップする。
		子どもふるさとふれあい広場事業		継続・充実	子どもたちの声を生かした活動展開をしていく。
		ジュニアリーダー夏のつどい			
		みんな友達…5年生			
		中学生夢さがし発見塾			
		ながおかポニーカーニバル			
	長岡の人材教育(芸術・言語)				
	相談援助についての情報提供と充実	教育相談、訪問相談	学校教育課	継続・充実	相談しやすい雰囲気とスタッフの対応を図っていく。
		フレンドリールーム			
		子どもサポートコール			
		相談事業	ウィルながおか	継続・充実	相談しやすい雰囲気とスタッフの対応及びPRを図っていく。
		少年相談活動(少年センター)	青少年育成課	継続・充実	

青年期 19～39歳



学生から社会人となり、結婚して家庭を構え、子どもの誕生で親としての責任も加わるという人生の中でも激動の時期です。家族・職場・地域との関わりにおいて互いに認めあうことや、スポーツ等を通して仲間づくりをすることで、充実感を持ち、身体の変化（衰え）に対しては若さに頼りすぎず、生活習慣を見直すことが必要となってきます。

2014年の目標

男性：30%以上
女性：15%以上

↓

男性：5.0%
女性：2.0%

↓

<自分・家族・地域・行政・関係機関ができること>

自分ができること

●体を動かすことを楽しもう ●積極的に体をうごかさう ●1回30分以上の運動を習慣づけよう ●運動チームやサークルに入ろう ●仲間と一緒に運動しよう ●睡眠を十分にとろう ●趣味や楽しみを持とう ●自分にあったストレス解消法を持とう ●ホッとする時間を持とう ●一人で悩まないで相談しよう ●節度ある飲酒量を守ろう～1日1合まで（多量飲酒は1日3合以上） ●妊娠・出産・不妊などについて一人で悩まないで相談しよう ●妊娠・出産は女性だけのことではなく男性も関わる意識を持とう ●地域の行事に参加しよう

家族・仲間ができること

●体を動かす時は家族で誘い合おう ●笑顔で「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と言おう ●家族揃って食事をしよう ●家族で共通の趣味やスポーツを楽しもう ●家族で団欒の時間を持とう ●飲みすぎないようにお互いに気をつけよう ●無理にお酒をすすめることをやめよう ●不妊の悩みを理解し、プレッシャーをかけないようにしよう

地域でできること

●若者や初心者に参加しやすい内容のサークルや教室を開催しよう ●職場で運動サークルをつくろう ●地域の行事に楽しく体を動かすプログラムを取入れよう ●若者が参加しやすい内容の事業を実施しよう ●近隣の若者の様子に関心を持とう ●妊娠・出産について多様な選択やあり方がことを認める社会づくりをしよう

行政・関係機関ができること

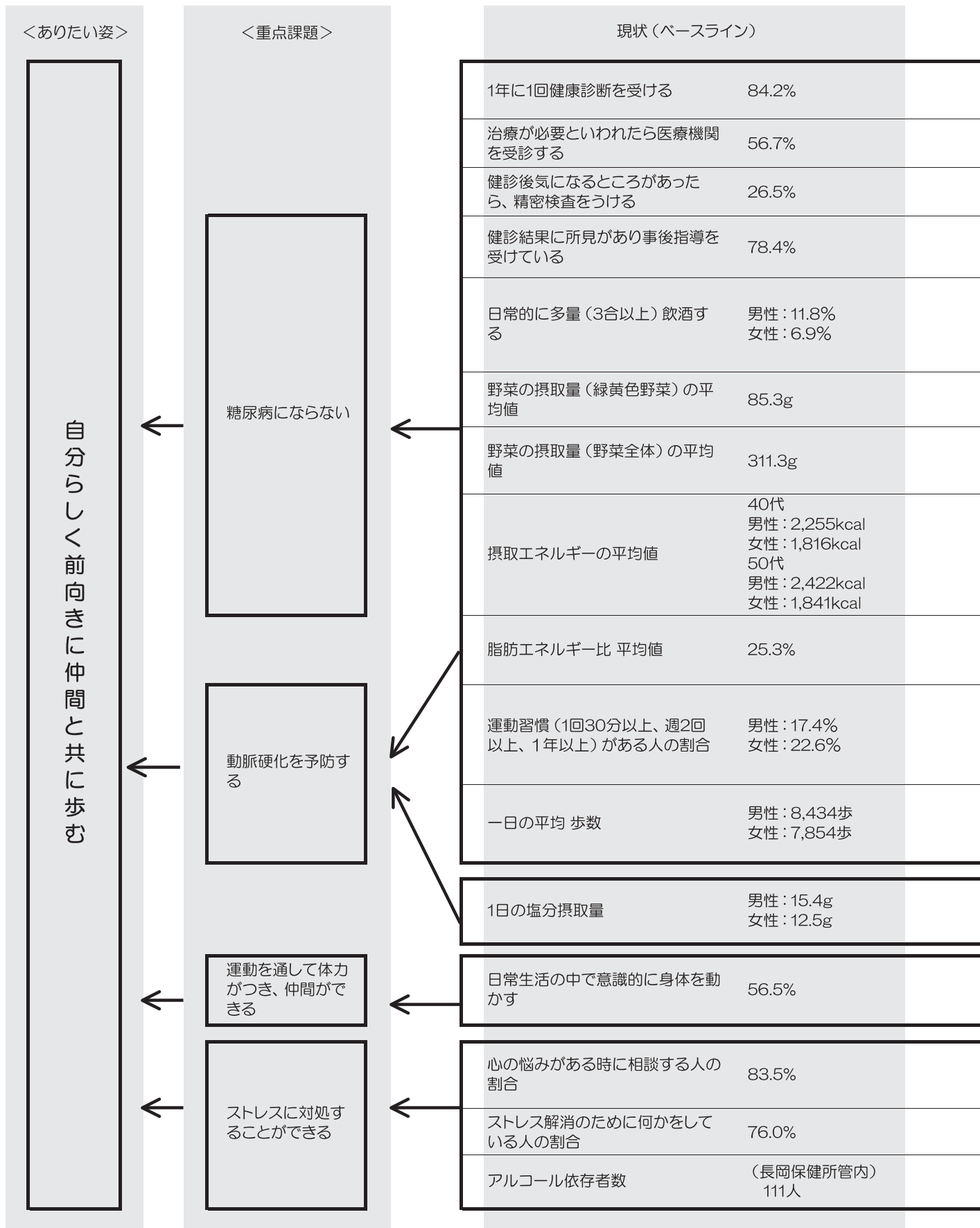
●若者が行きたくなるような体育施設の建設・推進 ●スポーツを軸にした地域における定期的なつどいの支援 ●運動サークル等の情報ネットワーク化 ●若者が活用できる広場の確保のための支援 ●心の悩みを相談する場の提供 ●ストレス解消法・前向きな考え方を学習する場の提供 ●ストレス対策・相談事業の充実 ●適正飲酒の知識の普及（事業の実施） ●小学生からのアルコール教育 ●妊娠・出産・不妊に関する相談機関の充実 ●過剰ダイエットや性感染症予防対策 ●不妊治療費助成 ●不妊と子どもを持たない選択について理解を進める

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
運動を通して体力が付き、仲間ができる	若者が行きたく なるようなプール・トレーニング グループ等の建設・推進		施設設備の充実	スポーツ振興課	充実	
		既存	スポーツ教室・クラブ運営事業	長岡市体育協会	拡大	参加者の増加
	市民体育祭		長岡市体育協会	拡大		
	地域対抗スポーツ大会		スポーツ振興課	拡大		
	地域活動事業		生涯学習課	拡大		
	勤労青少年の余暇活動事業		勤労青少年ホーム	拡大	若者の希望に合わせた教室の実施等で参加者の増加	
	心身障害者スポーツ教室		福祉相談課	拡大	参加者の増加	
	ハンディスポーツレクリエーション講習会		福祉相談課	拡大		
	心身障害者スポーツ振興事業		福祉相談課	拡大		
	障害者スポーツ競技力向上講習会		福祉相談課	拡大		
	健康増進活動		J A 越後ながおか	拡大	若者が参加しやすい時間の工夫などで参加者の増加	
	長岡まつり協賛体育事業	観光課	拡大	参加者の増加		
	運動サークル等の情報のネットワーク化	新規	(仮)運動サークル情報ネット	未定	新規・連携	運動サークル等が開催予定・参加者募集・指導者募集他の書き込みができるホームページを開設・作成する。
若者が活用できる広場の確保のための支援	事業名なし		未定	検討	広場(駐車場等)で昼・夜に若者がスポーツすることが他の市民に迷惑にならずに出来るようにマナーの指導・普及	

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
ストレスに対処できる	心の悩みを相談する場の提供	既存	あなたの健康相談室	健康課	充実	内容の充実とPR及び休日夜間への拡大
			相談事業	ウィルながおか	充実	
			ハートナビゲーションルーム	勤労青少年ホーム	充実	
			総合相談援助事業	長岡市社会福祉協議会	充実	
			精神保健福祉相談	長岡健康福祉環境事務所	充実	
			電話等による健康相談	長岡健康福祉環境事務所	充実	
			電話等による健康相談	健康課	充実	
	ストレス解消法・前向きな考え方を学習する場の提供	既存	健康教育	健康課	拡充	内容の充実と若い世代への拡大
			地域活動事業	生涯学習課	充実	
			生涯学習推進大学	中央公民館	充実	内容の充実と若い世代への拡大
			青年教育活動事業	中央公民館	拡充	
	講演会	介護保険課	拡充			
	ストレス対策月間を設けストレス対策・相談事業等の普及	新規	(仮)ストレス相談月間事業	健康課	検討	5月頃にキャンペーンを実施。各種「心の相談事業」が連携し、電話相談等を設け、マスコミ等でPRする。

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
節度ある適度な飲酒をする	健康一般の学習会等を介して適正飲酒を普及	既存	健康教育	健康課	充実	健康教育事業にお酒のことを付け加え、多量飲酒の害を具体的に知らせ、お酒の適量を普及する。若い世代への拡大の工夫。
			基本健康診査	健康課	充実	多量飲酒の害を具体的に知らせ、お酒の適量の普及する。
			薬事衛生指導員の講師派遣事業	長岡市薬剤師会	充実	健康教育事業にお酒のことを付け加え、多量飲酒の害を具体的に知らせ、お酒の適量を普及する。若い世代への拡大の工夫
	各種料理教室等を介して適正飲酒を普及		地区健康料理教室	食生活改善推進委員協議会	充実	お酒に良いメニューと楽しい飲酒のすすめ。
			勤労青少年の余暇活動事業・料理教室	勤労青少年ホーム	充実	
	多量飲酒の予防		アルコール依存症からの回復講演会	NPO新潟マック	拡大	一般的な酒害に関する講演内容により対象者の拡大を図る。
	小学生からのアルコール教育		小学生(中学生)のアルコール教育	学校教育課	充実	アルコールを禁止する教育だけでなく、多量飲酒の害や適正飲酒についても教育する。

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
(不妊相談や治療を受けることができない・不妊のために周りにプレッシャーを感じないで生活できる) 妊娠や出産の不安がない	充実した相談機関	既存	電話等による健康相談	長岡健康福祉環境事務所	充実	内容充実とPRによる対象拡大
			電話等による健康相談	健康課	充実	専用電話やスタッフの質の向上により、内容充実とPRによる対象拡大
			相談事業	ウィルながおか	充実	内容充実とPRによる対象拡大
	充実した相談・医療機関		不妊相談治療	医師会(産婦人科医療機関)	充実	相談の充実
	本人が不妊でプレッシャーを感じず、また周囲がプレッシャーをかけない社会づくり		(女性の)生き方に関する学習・意識啓発事業	ウィルながおか	拡充	命の大切さとともに不妊や生まない選択(生き方)について考える機会の提供
	若者の行過ぎたダイエットや性感染症等を防ぐ		ジェンダー講演会、研修会等	F&Mながおか市民会議	充実・連携	
			学生時代の性教育	学校教育課	充実	
経済的な支援	新規	(仮)不妊治療費の助成	国・県及び健康課	検討	不妊治療費の助成	



2014年の目標

↑

↑

35%

86%

男性：3.2%以下
女性：0.2%以下

120g以上

350g以上

設定しない

25%以下

男性：39.0%以上
女性：35.0%以上

男性：9200歩以上
女性：8300歩以上

10g未満

63%以上

↑

↑

↓

壮年期 40～64歳

<自分・家族・地域・行政・関係機関ができること>

自分ができること

- 塩分のとりすぎに注意しよう～1日10g未満を目指そう
- 野菜をたっぷり食べよう
- 脂肪のとりすぎを控えよう
- お腹いっぱいまで食べないようにしよう
- 節度ある飲酒量を守ろう～1日1合まで（多量飲酒は1日3合以上）
- 週2日以上は休肝日を設けよう
- 1年に1回健康診断を受けよう
- 健診結果で生活習慣を見直そう
- 健診結果で気になることがあったら精密検査を受けよう
- 体を動かすことを心がけよう
- 今より15分（1,000歩）多く歩こう
- 運動習慣を身につけよう
- 気の合う仲間と運動を楽しもう
- 地域の行事に参加しよう
- 自分なりのストレス解消法を持とう
- 一人で悩まないで相談しよう
- 趣味や楽しみを持とう
- 睡眠を十分にたとう

家族・仲間ができること

- 減塩料理を心がけよう
- 野菜を使った料理を作ろう
- 油を控えた料理を作ろう
- 食事の盛り付けは小皿で銘々に分けよう
- 飲みすぎないようにお互いに気をつけよう
- 無理にお酒をすすめるのをやめよう
- 健康診断を受けることを勧めよう
- 家族で体を動かそう
- 家族で食卓を囲もう
- 家族の何気ない話も聞くようにしよう
- 家族共通の趣味や楽しみを持とう
- 家族で地域行事に参加しよう

地域ができること

- 初心者でも参加できる運動教室や講座を開催しよう
- 参加しやすい内容（時間帯や開催日）の事業を開催しよう
- 地域サークル活動などで仲間の輪を広げよう

行政・関係機関ができること

- 各種健康診査の実施
- 健康教室・健康相談の開催
- 健診事後管理の支援
- 健康情報の提供
- 各種健康教育・相談会の広報
- 地域と職域と医療機関の連携を図る
- 身体活動の有効性と方法について情報提供
- 気軽に運動できる場（機会）の提供
- こころの健康づくりの普及と意識啓発
- 心の悩みを相談する場の情報提供
- 心の悩みを相談する場の確保
- 生きがいづくり活動支援

働き盛りの年代です。人生の中で最も忙しく、家庭や職場での責任も重くストレスがたまりやすくなる時期です。このような日常生活において、生活の質を維持して病気にならないで、やりたいことができ、精神的にゆとりのある生活を望んでいます。また、次に迎える高齢期をいきいきと過ごすためにも、地域での行事やサークル活動を通して、共に楽しみ語り合える仲間をつくり、自分らしく前向きに生きることが必要です

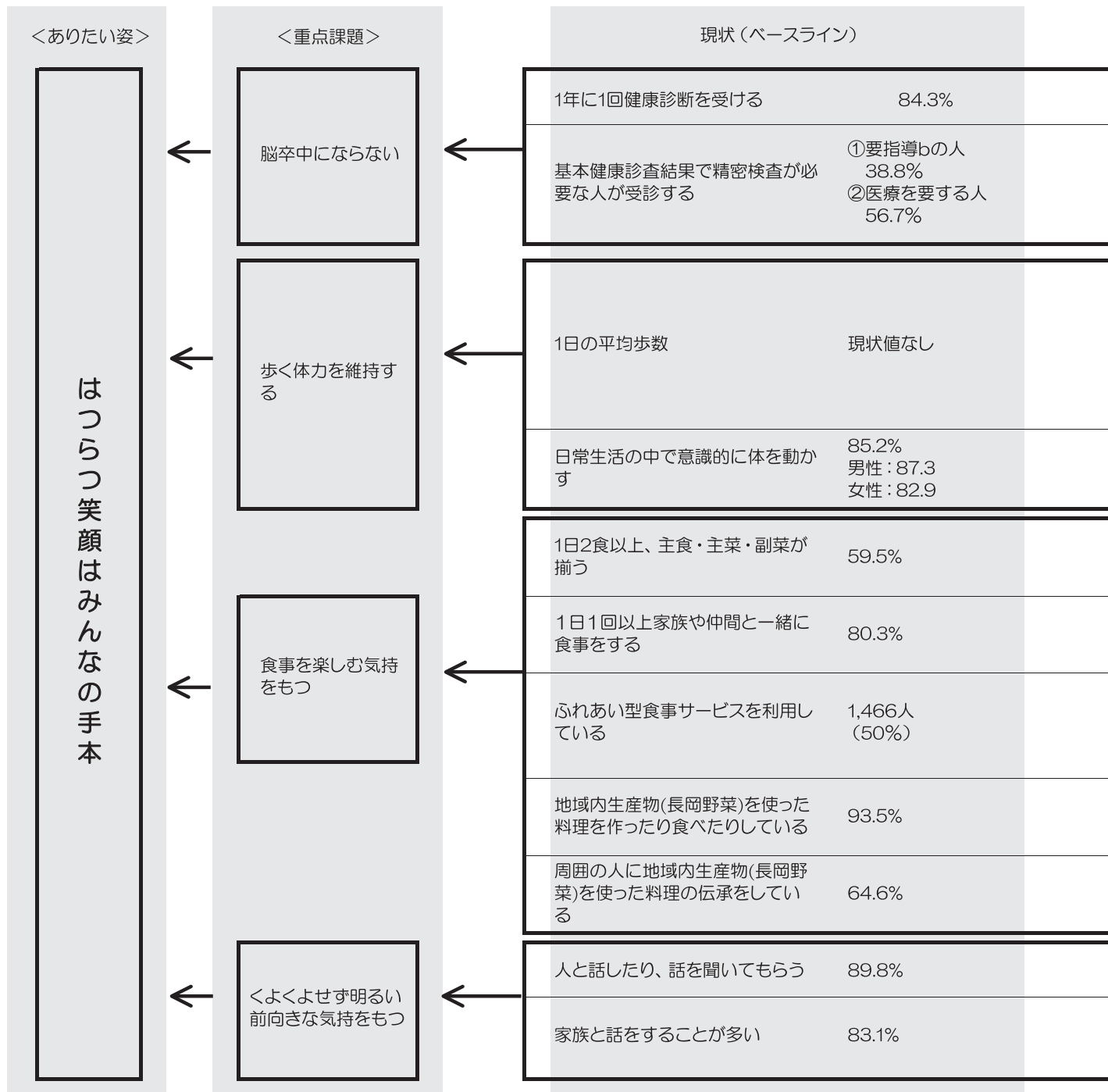
重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関が できること	事業名	実施主体	方向性	内容	
糖尿病にならない	各種健康教育、 相談会の広報	市民への広報・長岡市ホームページの活用	健康課	充実	参加したくなるような内容を工夫する。	
		各種会議等でPR	地域産業保健センター	拡大	企業や職場に、あらゆる機会を通じて健康教育や健康相談の場があることをPRしていく。	
		健康相談リーフレットの配布	地域産業保健センター	拡大	具体的な内容、利用方法などを盛り込みPRしていく。	
	各種健康診査の実施	基本健康診査・一般健康診査	健康課、事業所	充実	市実施の基本健康診査でHbA1cの全員実施を行い糖尿病予備軍の早期発見をする。	
	健康教室、健康 相談の開催	既存	糖尿病教室	健康課	拡大	全地区で実施
			あなたの健康相談室	健康課	充実	適正飲酒量や適正カロリー摂取の指導をする。
			総合相談会すこやかステップ	健康課	充実	減塩や適正カロリー摂取の指導をし、本人の実行可能目標をたて再検査でフォローアップしていく。
			健康相談窓口開設診療所	地域産業保健センター	充実	診療所を増やし健診結果について相談しやすくし利用者を増やす。
			地域の伝承料理集の発行	栄養士会長岡支部	拡大	次世代に伝えたい伝承料理を関係者アンケートからまとめたもの。増刷し、PRする。
			健康料理教室	食生活改善推進委員協議会	連携・ 充実	バランスのよい献立を提供する。
	健診事後管理の 支援	健診後事後訪問・訪問指導事業	健康課	拡大	未受診者への受診勧奨をする。	
		訪問による産業保健指導	地域産業保健センター	拡大	指導の内容に糖尿病予防を重視する。	
		産業保健情報の提供	地域産業保健センター	充実		
	ネットワーク整備	糖尿病合併症予防支援システム検討会	長岡健康福祉環境事務所	連携	地域と職域と医療機関の連携を図る。	
	健康情報の提供	食環境整備推進事業	長岡健康福祉環境事務所(長岡市飲食業組合連合会)	連携・ 充実	飲食連合会に外食成分表示を働きかけたり、スーパーに惣菜成分表示するなど協力店を増やす。	
		糖尿病献立集	栄養士会長岡支部	充実	様々な機会での利用をする。	

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
動脈硬化を予防する	各種健康診査の実施	基本健康診査・一般健康診査	健康課、商工会議所(各事業所)	拡大	健診を受ける人を増加し、高血圧や高脂血症などハイリスク者の早期発見をする。	
	各種健康教育、相談会の広報	市民への広報・長岡市ホームページの活用	健康課	充実	参加したくなるような内容を工夫する。	
		各種会議等でPR	地域産業保健センター	拡大	企業や職場に、あらゆる機会を通じて健康教育や健康相談の場があることをPRしていく。	
		健康相談リーフレットの配布	地域産業保健センター	拡大	具体的な内容、利用方法など盛り込みPRしていく。	
	健康教室、健康相談の開催	既存	高脂血症予防事業	健康課	拡大	ヘルスアップ教室の実施回数を増やす。
			あなたの健康相談室	健康課	充実	減塩や適正カロリー摂取の指導をし、生活習慣改善に取り組めるようにする。
			総合相談会すこやかステップ	健康課	充実	減塩や適正カロリー摂取の指導をし、本人の実行可能目標をたて再検査でフォローアップしていく。
			健康相談窓口開設診療所	地域産業保健センター	充実	診療所を増やし健診結果について相談しやすくし利用者を増やす。
			男性料理教室	栄養士会長岡支部	充実	減塩や飲酒に関する内容を入れる。参加しやすい日時を再考する。
			健康料理教室	食生活改善推進委員協議会	充実	減塩やバランスのよい献立を提供する。
			健診事後管理の支援	健診後事後訪問・訪問指導事業	健康課、事業所	充実
	訪問による産業保健指導	地域産業保健センター		拡大	指導の内容に高血圧、高脂血症予防を重視する。	
	産業保健情報の提供	地域産業保健センター		充実		
	健康情報の提供	食環境整備推進事業	長岡健康福祉環境事務所(長岡市飲食業組合連合会)	拡大・連携	飲食連合会に外食成分表示を働きかけたり、スーパーの惣菜に栄養成分表示をするなど協力店を増やす。	

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み				
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容
運動を通して体力が付き、仲間ができる	身体活動の有効性と方法について情報提供	糖尿病教室	健康課	充実	教室内容に身体活動の重要性を取り入れ、講義、実技を入れる。
		あなたの健康相談室	健康課	充実	身体活動の重要性を啓発普及する。
		総合健康相談会すこやかステップ	健康課	充実	相談会に身体活動の重要性を取り入れ、講義、実技を入れる
		健康相談窓口開設診療所	地域産業保健センター	充実	医療機関を受診した機会に医師が身体活動の重要性を話す。
		健診後事後訪問・訪問指導事業	健康課	拡大	指導内容に身体活動の重要性を入れる。
		訪問による産業保健指導	地域産業保健センター	充実	
		産業保健情報の提供	地域産業保健センター	充実	
		地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ振興課(長岡市体育協会)	充実	運動、身体活動の重要性を啓発普及する。
		診療業務	医師会	充実	医療機関を受診した機会に医師が身体活動の重要性を話す。
	気軽に運動できる場(機会)の整備	地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ振興課	充実	誰でも気軽に参加し、楽しめる場にする。
		生涯スポーツ推進事業	スポーツ振興課	充実	
		心身障害者スポーツ教室	福祉相談課	充実	
		心身障害者スポーツ振興事業	福祉相談課	充実	
		障害者スポーツ競技力向上講習会	福祉相談課	充実	
		市民体育祭	長岡市体育協会	充実	
		長岡まつり協賛体育事業	観光課	充実	
		コミュニティスポーツクラブ育成事業	スポーツ振興課	充実	
スポーツ教室・クラブ事業運営	長岡市体育協会	充実			

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み						
	行政・関係機関が できること	事業名	実施主体	方向性	内容		
ストレスに対処することができる	こころの健康づくりの普及と意識啓発	こころの健康講演会	介護保険課(長岡健康福祉環境事務所)	充実	参加者の増加により理解者を増やす。		
		精神保健福祉講座	介護保険課	充実			
	こころの悩みを相談する場の情報提供	市民への広報・長岡市ホームページの活用	健康課	充実	困った時に相談できる場を情報提供していく。		
		各種会議等でPR	地域産業保健センター	拡大	企業や職場に、あらゆる機会を通じて健康相談の場があることをPRしていく。		
		健康相談リーフレットの配布	地域産業保健センター	拡大	具体的な内容、利用方法など盛り込みPRしていく。		
	こころの悩みを相談する場の確保	既存	あなたの健康相談室	健康課	充実	身近な相談の場として相談しやすい雰囲気にする。	
			総合相談援助事業	長岡市社会福祉協議会	継続	身近な相談の場として今後も継続する。	
			在宅介護者のつどい	長岡市社会福祉協議会	継続		
			電話等による健康相談	健康課(長岡健康福祉環境事務所、介護保険課)	継続		
			相談事業	ウィルながおか	継続		
			痴呆介護支援ネットワーク事業	長岡健康福祉環境事務所	継続		
			精神保健福祉相談	長岡健康福祉環境事務所	充実		
			難病患者地域支援対策推進事業	長岡健康福祉環境事務所	継続		
			健康相談窓口開設診療所	地域産業保健センター	拡充		職場の人の身近な相談の場として活用できるよう診療所を増やす。
			生きがいがづくり支援活動	地域活動事業	生涯学習課		充実
	生涯学習推進大学	中央公民館		充実			
	成年教育活動事業	中央公民館		充実			
	女性教育活動事業	中央公民館		充実			
	生涯学習推進・相談事業	生涯学習課		充実			

高齢期 65歳～



年をとるにつれて、誰もが身体の衰えを感じるようになります。反面、これまでの人生経験により、人との協調性やいたわり、やさしさといった心の面は充実してきます。家庭や地域でいきいきと生きがいをもって、笑顔で暮らしたいと望む高齢者の姿があり、社会的には人生の完成期を迎えます。

2014年の目標	
85.0%	
①50.0% ②70.0%	
70歳以上 男性：6,700歩以上 女性：5,900歩以上	
→	
↑	
→	
1,635人 (50%)	
↑	
↑	
→	
→	

<自分・家族・地域・行政・関係機関ができること>

自分ができること

●自分に合った運動を続けよう ●体調に合わせて散歩に出かけよう ●朝のラジオ体操やハッピー体操を続けよう ●毎日15分は歩くところがけよう ●スポーツをしよう ●足の筋肉を鍛えよう ●バランスのよい食事をとろう ●主食・主菜・副菜が揃った食事をとろう ●腹八分目までにしよう ●脂肪はとりすぎない ●1年に1回、健康診査を受けよう ●かかりつけ医を持とう ●健康診断の結果で気になるところがあったら受診しよう ●入浴後・寝る前・起床時にコップ1杯の水を飲む習慣をつけよう ●適正体重を維持しよう ●自分に合った方法でストレス解消をしよう ●十分な睡眠をとる努力をしよう ●晩酌は適量で楽しもう ●規則正しく食事をしよう (ゆっくりがグルメ) ●自分に合った食事をしよう ●平らな気持ちで食卓につこう ●旬の野菜(地場野菜)を取入れた食事をしよう ●郷土料理を伝承しよう ●自分で料理をしよう ●趣味や楽しみを持ち続けよう ●気軽に茶を飲み、話をしよう ●閉じこもらないで積極的に外に出よう ●気の合う仲間をつくろう ●失敗しても気にしない ●地域の行事に参加しよう ●悩みを抱え込まず相談したり、相談相手になろう ●家庭の中で自分の仕事(役割)を見つけよう ●1日1回誰かと思いきり笑いあおう

家族・仲間ができること

●家族で運動しよう ●誘い合って散歩に出かけよう ●家族でハイキングに行こう ●地域行事への参加を勧めよう ●高齢者の運動を励まそう ●つまずかないように、物の片づけ整理をしよう (足元に物を置かない) ●浴室と脱衣場の温度差をなくそう ●トレイに暖房を設置しよう ●家族の様子がいつもと違う時は早めに受診をすすめよう ●家族共通の趣味や会話をもち、心と体の休養を十分にとろう ●家族で健康診断結果について話し合おう ●1日1回以上家族や仲間と一緒に食事を楽しもう ●食べる人のことを考えた献立をつくろう ●家族で食事をつくろう ●家族が集まる時間をつくろう ●家族で食卓を囲もう ●茶の間に集まり団欒を楽しもう ●おはようのあいさつをしよう ●家族の話をよく聞こう ●高齢者が家での役割を持つようにすすめよう ●体力的な衰えを補助し趣味や楽しみが続けられるよう応援しよう

地域ができること

●楽しみながら運動できる行事を開催しよう ●地域のウォーキングマップをつくろう ●ウォーキング大会を開こう ●家族で参加できる行事をしよう ●地域の教室やクラブを紹介しよう ●夜でも安心して歩ける環境をつくろう (門灯をつける、街灯の設置など) ●健康教室の開催(脂肪・塩分・青魚・高齢者向けメニュー・惣菜活用、夜間教室) ●公民館や地区福祉会などで男の料理を勧めよう ●地域の店、スーパーなどに栄養成分表示運動を進めよう ●健診や受診へ1人で行けない人のために送迎を手伝おう ●地域での会食やお茶のみをすすめよう ●地域行事への参加を支援するボランティア育成をしよう ●誰でも気軽に立ち寄れる場をつくろう ●参加しやすい雰囲気のある事業を開催しよう ●世代交流のある事業をしよう ●地域の活動のPRをしよう (趣味の教室やサークル・老人クラブ) ●相談先をわかりやすくPRしよう ●シルバー人材を活用しよう

行政・関係機関ができること

●健康づくりに歩くことが大切ということを本人、家族、地域の人に啓発普及する ●安全に楽しく仲間と運動できるような講座を企画する ●生活習慣病予防に関する情報の提供 ●各種健康診査の実施 ●健康教室、健康相談の開催 ●情報の収集、調査の実施 ●仲間と食事をする機会の提供 ●「うつ病」の知識普及と意識啓発 ●相談の場の情報提供と相談の場の確保 ●仲間づくり支援活動 ●生きがいづくり支援活動

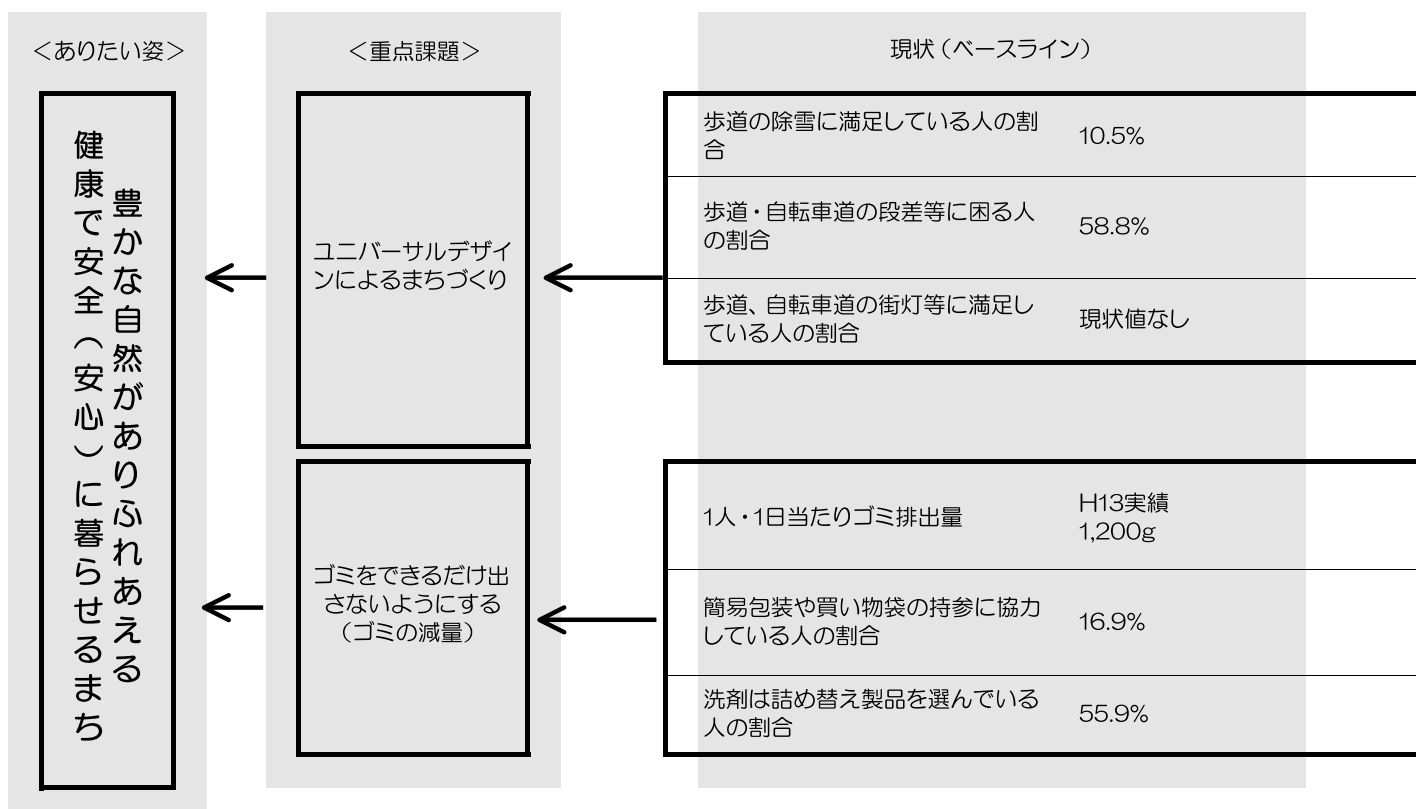
重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み				
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容
脳卒中にならない (定期的に健康診断を受ける／自分に合った質と量の食事をする)	生活習慣病予防に関する情報の提供	市民への広報・長岡市ホームページの活用	健康課	充実	暮らしのガイドで生活習慣病に関する情報を掲載する。各種教室も紹介する。
		糖尿病を知るつどい	医師会	継続	関係機関と連携し実施する。
		食環境整備推進事業	長岡健康福祉環境事務所(長岡市飲食業組合連合会)	充実・連携	外食成分表示・惣菜成分表示など協力店を増やす。
	各種健康診査の実施	基本健康診査	健康課(J A越後ながおか、医師会)	充実	検査データを蓄積し、総合的に判定
		糖尿病予防教室	健康課	拡大	全地区で実施
	健康教室、健康相談の開催	高脂血症予防事業	健康課	拡大	ヘルスアップ教室の実施回数が増
		健診後の健康相談(総合相談会すこやかステップ)	健康課(医師会)	充実	家庭医(かかりつけ医)による健診結果の説明、生活のアドバイスを充実
		健診後事後訪問・訪問指導事業	健康課	充実・連携	医師と連携し、実施
		健康教育	健康課	充実	高齢期の特徴を踏まえて実施
		健康料理教室	食生活改善推進委員協議会	継続	各地区で実施
		食生活の普及	J A越後ながおか	継続・連携	食生活リーダーによる地区伝達講習会の実施
		健康増進活動	J A越後ながおか	充実	研修会の各地区実施
		情報の収集、調査	脳卒中情報システム事業	長岡健康福祉環境事務所(各医療機関・健康課)	継続・連携
	県等の栄養実態調査		長岡健康福祉環境事務所(国、県、栄養士会長岡支部)	継続	県民栄養実態調査
	生活習慣病予防に関する情報の提供	生活習慣病予防のための食に関するパンフ作成、配布	栄養士会長岡支部(長岡市社会福祉協議会)	連携	チラシの作成：栄養士会チラシ配布：長岡市社会福祉協議会
		自主活動	食生活改善推進委員協議会(長岡市社会福祉協議会)	連携	社協の食事サービスや地区の集まり等に参加し、食事の工夫、簡単な献立を伝達していく。

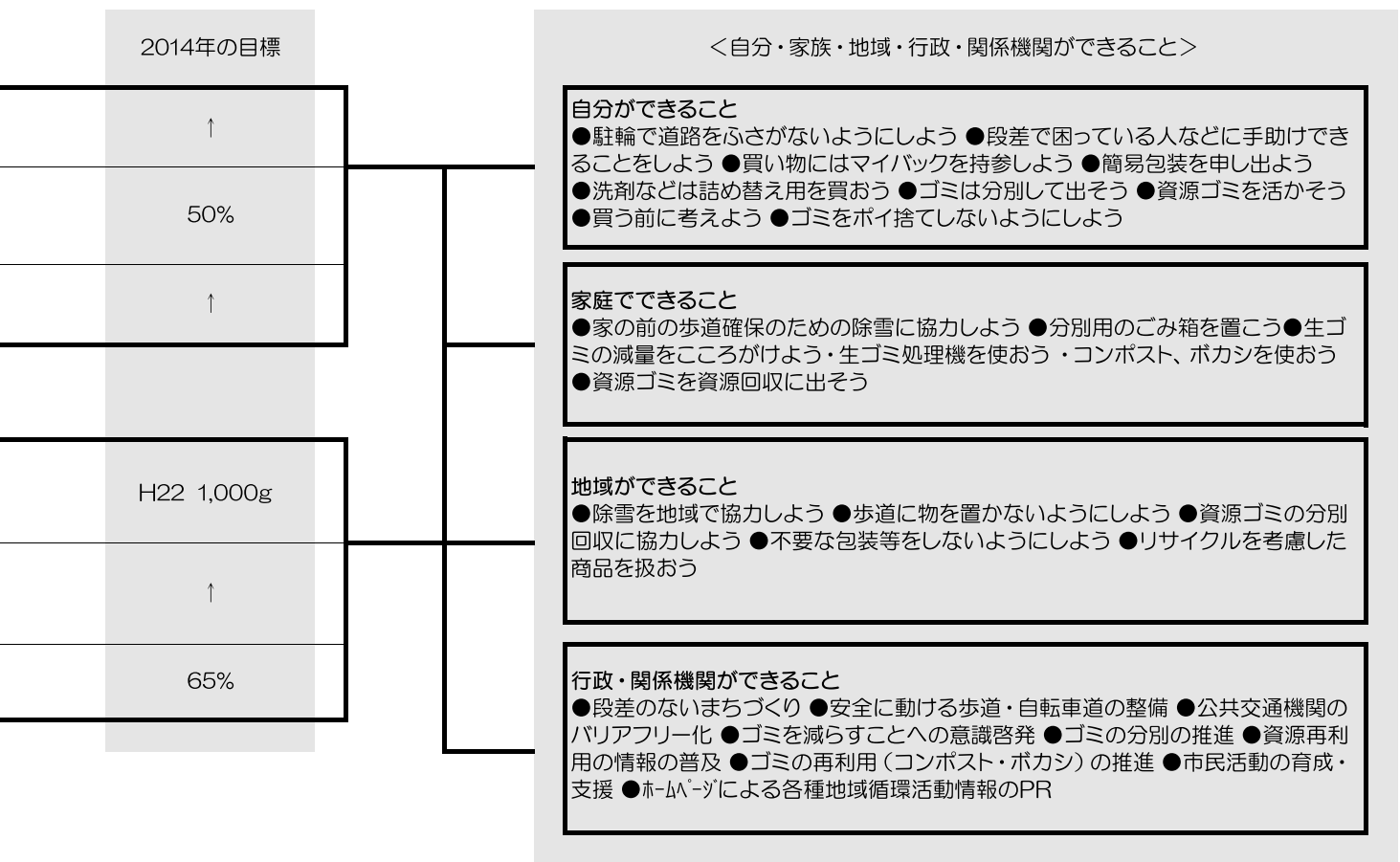
重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
歩く体力を維持する	健康づくりに歩くことが大切ということを本人、家族、地域の人に啓発普及する。	既存	健脚度測定調査事業	健康課	継続実施	平成14年度を初年度として、1・3・10年後の追跡調査を実施していく。
			足腰お達者教室	健康課	拡大	1地区1教室の実施を目指す。
			サークル支援事業	健康課	充実	希望団体等に対し、介護予防の啓発普及を行っていく。
		新規	ハッピー体操指導者・サポーター派遣事業	健康課	新規	平成16年度の実施状をみて、その後の実施の状況を検討する。ハッピー体操は他の介護予防事業のプログラムとして取入れる。
	安全に楽しく仲間と運動できるような講座を企画する。 〔学びを取り入れた楽しい企画 ・指導者育成 ・ウォーキングコースの再発掘 ・水中運動のできる施設の利用推進(地区の特色を生かした健康づくり)〕	既存	健脚度測定調査事業	健康課	継続	平成14年度を初年度として、1・3・10年後の追跡調査を実施していく。
			足腰お達者教室	健康課	拡大	1地区1教室の実施を目指す。
			サークル支援事業	健康課	充実	希望する団体等に対し、介護予防の啓発普及を行っていく。
			地域健康づくり事業	健康課	充実	各地区でウォーキングコースを設定できるようコミュニティセンター、市老連に働きかける。
			生涯スポーツ推進事業	スポーツ振興課	充実	いろんな人から参加してもらえるように内容を充実していく。
			地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ振興課(健康課)	充実・連携	指導者養成をする際、高齢者の特性を踏まえた運動指導についても講座を設ける。
			生涯学習推進・相談事業	生涯学習課	充実・連携	人材バンク「まちの先生」の情報提供を勧める。
	スポーツ教室・クラブ運営事業	長岡市体育協会	充実	開設コースの増設、検討		
	安全に楽しく仲間と運動できるような講座を企画する。	新規	ウォーキングコースの整備、イベント開催	長岡市老人クラブ連合会	実施	ウォーキングコースの発掘、ウォーキング大会の開催、敬老会で表彰する等
			ハッピー体操指導者・サポーター養成事業	健康課	継続	養成状況をみて判断していく。年1回程度のフォローアップ研修会は実施していく。

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
食事を楽しむ気持ちを持つ	仲間と食事をする機会の提供	既存	ふれあい型食事サービス事業	長岡市社会福祉協議会	拡大	会食を各地区週1回実施
			地域福祉・在宅福祉サービス事業	長岡市社会福祉協議会	充実	会食に高齢者が参加しやすいように運転ボランティアの充実、みんなが元気に外に出るように参加勧奨
			お茶のみサロン(ふれあいサロン、いきいきサロン)	地区社会福祉協議会(食生活改善推進委員協議会、健康課)	充実・連携	仲間づくりを目的に各地区で実施

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
くよくよせず明るい前向きな気持ちを持つ	講演会や健康教育による「うつ病」の知識普及と意識啓発	健康教育	健康課	充実	老人クラブの健康教育等でうつ病について理解を深めてもらう。	
	相談の場の情報提供と相談の場の確保	民生委員活動	福祉総務課	充実	身近な相談者として地域の人たちにもっとPR	
		健診後事後訪問・訪問指導事業	健康課(介護保険課)	充実	個別に家庭訪問して相談にのっていく。	
		あなたの健康相談室	健康課	継続	身近な相談の場として今後も継続	
		相談事業	ウィルながおか	継続		
		電話等による健康相談	長岡健康福祉環境事務所健康課	継続		
		診療業務	医師会	充実	体の健康状態が悪い人は、抑うつ状態を示す人が多く、かかりつけ医として心の兆候について適切な対処をしていく。	
	仲間づくり支援活動	既存	お茶のみサロン(ふれあいサロン、いきいきサロン)	地区社会福祉協議会(食生活改善推進委員協議会、健康課)	充実・連携	仲間づくりを目的に各地区で実施
			単位クラブ活動	長岡市老人クラブ連合会	拡充	会員を増やし、地域の仲間づくりを行う。また、各世代の交流を通じて内容の充実を図る。
	生きがいづくり支援活動	既存	生涯学習推進・相談事業	生涯学習課	充実	地区コミュニティ事業にまちの先生を活用していく。
			高齢者趣味の教室	中央公民館	充実	趣味創作活動を通して、参加者相互の親睦と交流を図る。
			生涯学習推進大学	中央公民館	充実	趣味を楽しめる場、サークル活動等を通して、仲間づくりができる場にする。
			高齢者就業機会確保事業	シルバー人材センター	充実	高齢者が生きがいを持ってすごせるように地域の理解を進め仕事の充実を図る。
			健康維持スポーツ大会	長岡市老人クラブ連合会	拡充	会員を増やし、地域の仲間づくりを行う。手軽に楽しめる軽スポーツを活動に取入れていく。

全世代共通（環境）





健康なまちは、安心して暮らせる生活環境があってこそ築くことができます。東山連峰や田園、街路樹などの豊かな緑、親しめる川、誰もが出かけやすい道路など、日常生活における豊かな環境と安全性の確保が必要です。こうした環境づくりにも取り組みが望まれています。

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み					
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容	
ユニバーサルデザインによるまちづくり	段差のないまちづくり 安全に動ける歩道・自転車道の整備 公共交通機関のバリアフリー化	既存	長岡市交通バリアフリー基本構想推進事業	都市政策課	充実	市民への周知
			バリアフリー歩行者空間ネットワーク整備事業	道路管理課	拡充	地域拡大
			信濃川左岸自転車・歩行者専用道路整備事業	道路管理課	予定	堤防整備の完了した区間について自転車・歩行者専用道として市道認定し供用開始を行なう。
			県道の歩道整備事業	新潟県(長岡土木事務所)	継続	計画的に歩道整備を図る。
			(歩道)バリアフリーまちづくり事業	新潟県(長岡土木事務所)	継続	計画的にバリアフリー化した歩道整備を図る。
	冬場の歩道確保		雪みち計画推進事業	道路管理課	継続	市民と共働した活動もすすめる。
	利用者の多い施設のバリアフリー化		バリアフリーのまちづくり(新潟県福祉のまちづくり条例)	福祉総務課・都市開発課	充実	新築建築物のバリアフリー化の指導・助言・検査や既存建築物のバリアフリー化の状況把握・指導・助言。

重点項目	取り組みの現状と必要な取り組み						
	行政・関係機関ができること	事業名	実施主体	方向性	内容		
ゴミをできるだけ出さないようにする(ゴミの減量)	ごみを減らすことへの意識啓発 ごみの分別の推進	既存	指針作成	環境業務課	充実	市民への周知	
			環境まつり開催	環境政策課	継続	内容の充実とPR	
			市政だより・ごみ情報誌発行	環境業務課	充実	ごみ改革の進捗状況や今後の計画などを盛りこんでいく。	
			ごみの有料化によるごみ改革事業	環境業務課	充実	家庭ごみの有料化導入を進め、ごみの減量とリサイクルを進める。	
			(小学校における)環境教育	学校教育課	拡充	内容の充実と対象の拡大。	
			環境学習・啓発推進事業	学校教育課	拡充	社会科や総合的な学習の時間などで学習を行う。	
			環境学習・啓発推進事業	環境政策課	拡充	内容の充実とPR	
			資源の再利用の情報の普及 ごみの再利用(コンポスト・ボカシ)を勧める	リサイクル店の市民への紹介	環境業務課	充実	協力店の拡大と充実。
				電動生ごみ処理機への助成	環境業務課	拡大	PRし拡大する。
				古紙リサイクル事業	NPO地域循環ネットワーク	拡大	
				資源・農業循環交流事業	NPO地域循環ネットワーク	拡大	
				割り箸リサイクル事業	NPO地域循環ネットワーク	拡大	
	給食残さ再利用事業	NPO地域循環ネットワーク		拡大			
	廃食油再生事業	NPO地域循環ネットワーク	拡大				
	市民活動等の育成・支援	既存	NPO等の環境衛生センター使用	環境施設課	拡充	市民活動のPRと育成支援。	
			ごみ減量ボランティア育成事業	NPO地域循環ネットワーク(環境政策課)	拡大	PRし拡大する。	
	ホームページに各種地域循環活動情報をリンクできるようにし市民にPRする	新規	(仮)ホームページ「ごみから資源へ」	環境政策課	連携	ホームページを開設し各種活動情報を各種団体がリンクできるようにする。	

4 重点事業一覧

企画課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
1	ブックスタート	<p>赤ちゃんともわりのみんなが絵本を通して楽しい時間を分かち合うことを応援する事業として実施する。平成15年10月から実施。</p> <p>対象は、平成15年4月生まれの赤ちゃんから。生後5・6か月の赤ちゃん相談の際に、司書と市民ボランティアが絵本1冊とアドバイス集を、メッセージを添えて手渡している。</p> <p>ねらいは、赤ちゃんともわりのみんなの楽しさを分かち合うことの大切さや喜びを伝えるとともに、ブックスタートをきっかけに父親が子育てに積極的にかかわる環境づくりをすすめることである。</p>	合併に伴う対象者の増加。 対象者：3,000人程度／年間
2	保育ヘルパー養成講座 (講座等で保育を実施する保育ヘルパーの養成)	<p>子育て中の人が学習や社会参加ができるように、依頼された場所で保育を実施する保育ヘルパーの養成をする。</p> <p>すでに活動実績がある団体の活動を市民に紹介し、活動への理解を深めるとともに、活動への参加を呼びかけて、保育ヘルパーを養成する。平成15年度実施事業。</p>	未定

ウィルながおか

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
3	相談事業	<p>ウィルながおか相談事業</p> <p>1 相談窓口業務（平成15年度から）月曜日から土曜日（10：00から17：00まで）</p> <p>2 専門相談 こころの悩み相談・・・月2回、女性カウンセラー からだ・性の悩み相談・・・月2回、保健師・助産師・思春期相談員</p>	<p>1 相談窓口業務・・・年間350～400件程度の見込み ウィルながおか嘱託員と市職員で対応</p> <p>2 専門相談・・・全体で年間80件程度の見込み</p>
4	(女性の) 生き方に関する学習・意識啓発事業	<p>ウィルながおか学習・研修事業</p> <p>ジェンダーの視点に立った問題の認識と学習を進める。 また、女性が社会のあらゆる場へ参画するためのエンパワーメント（力をつける）を支援する学習・研修事業を実施する。</p>	センター紙・情報誌の発行、企画展示・講座等事業を市民とともに企画、実施し、さらに内容を充実する。

市民センター

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
5	子どもの声をひろう場をつくる。	<p>市民センターとしては主体的に事業を展開しているというのではなく、市民が企画したイベント等に対し、場所や設備の提供、実施の助言・相談、イベントPRを行っている。</p> <p>また、市民センター内にある施設で高校生が主体として企画運営するイベント等も行われている。(国際交流センターなど)</p>	現在のままの利用形態とする。

6	市民センター活動	<p>市民センターとしては主体的に事業を展開しているというのではなく、市民が企画したイベント等に対し、場所や設備の提供、実施の助言・相談、イベントPRを行っている。</p> <p>また、市民センター内にある施設で高校生が主体として企画運営するイベント等も行われている。(国際交流センターなど)</p>	現在のままの利用形態とする。
---	----------	--	----------------

福祉総務課・都市開発課

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
7	<p>利用者の多い施設（新建築）のバリアフリー</p> <p>高齢者、障害者の自立と社会参加を促進するために、県民の理解のもとに、高齢者、障害者等が安全かつ快適に地域で生活できるような施策を推進する。</p> <p>多数の人が利用する建物、施設等の整備について一定の基準（便所、廊下、エレベーター、駐車場、歩道等）を設ける。事業者は建築確認申請時において整備を進めるとともに市が事業者には指導を行なっている。</p>	誰もが利用しやすい施設建設の推進のため、事前協議のあった公共的施設については、整備基準遵守事業者に対し指導・助言し、70%以上の施設が適合となるよう努める。

福祉総務課

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
8	<p>民生委員活動</p> <p>「民生委員は、常に住民の立場に立って相談に応じ及び必要な援助を行ない、もって社会福祉の増進に努める。」を基本理念として活動している。</p> <p>民生委員は各地区で民生委員児童委員協議会を組織し、生活保護、老人福祉、身体障害者福祉、母子福祉等の福祉全般に渡って住民が必要とする福祉サービスの情報提供とサービス利用の相談業務等の活動を通じて、きめ細かな援助に努めている。</p>	<p>少子高齢化社会の進展に伴い、民生委員の職務は一層の充実を求められてきている。</p> <p>今後、民生委員活動をこれまで以上に広く住民に周知し、適切な福祉サービスの利用につなげていく。</p>

福祉相談課

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
9	<p>障害者スポーツ競技力向上講習会</p> <p>障害者スポーツの活性化と競技力の向上を図り、全国レベルの選手・チームを育成するためスポーツ競技力向上講習会を開催。</p> <p>(※特に、年齢に制限を設けていないため、実績等は青年分も含む)</p>	<p>実施予定種目</p> <p>(1)ハンディキャップテニス 4回 参加見込人数 70人</p> <p>(2)車いすバスケットボール 4回 参加見込人数 70人</p>
10	<p>心身障害者スポーツ教室</p> <p>スポーツ教室を通じて、心身障害者の身体機能の向上及び社会参加の促進を図る。</p> <p>障害の程度や、個人の運動能力に合わせた指導を行なう。</p>	<p>実施予定種目</p> <p>(1)水泳教室 5回 定員 20人</p> <p>(2)テニス教室 5回 定員 30人</p>
11	<p>心身障害者スポーツ振興事業</p> <p>心身障害者のスポーツ振興を図るため国際的または、全国的規模のスポーツ大会に参加する心身障害者に対し激励費を交付する。</p>	全国・国際大会延べ出場者数見込 35人

12	ハンディスポーツレクリエーション講習会	障害者スポーツ・レクリエーション活動の指導者を養成するとともに、障害者スポーツ・レクリエーションの普及・発展を図る。	実施回数：5回 参加見込人数：20～25人
----	---------------------	--	--------------------------

介護保険課

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定	
13	精神保健福祉講座	精神障害に対する正しい知識の普及と地域を支える理解者を増やし、障害者と住民が共に生きる地域づくりの推進を図ることを目的に、精神病についての講義や施設見学・障害者との交流を図る講座を実施する。	実施回数1 講座以上
14	こころの健康講演会	精神保健福祉に関する普及啓発を目的に講演会を実施する。	実施回数1 回

児童福祉課

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定	
15	一時保育・ファミリーサポート・乳幼児健康支援デイサービス・乳幼児一時預かり等の基盤整備	子育てと仕事・家庭の両立を支援するため、一時的に子どもを受入れる態勢を整備する。	利用者のニーズに応じた活動を展開するため、実施場所の見直し等を行ないながら継続して実施する。
16	保育園地域活動事業	多様化する保育需要により積極的に対応するとともに、地域に開かれた社会資源として、保育園の有する専門的知識を地域住民のために活用することが求められている。このため、高齢者等との交流や育児講座等による地域との交流を通して保育園の専門的な機能を提供する。	継続して事業を実施する。
17	保育園地域子育て支援センター	就労形態の多様化や核家族化により、子育てに対する負担や悩みを抱えている人が少なくないことから、保育園において気軽に相談をしてもらえぬ雰囲気づくりをしていく。また、相談内容により関係機関との連携を強化し、相談業務の充実を図る。	保育園地域子育て支援センター事業実施保育園を地域バランスを考慮し適正に配置するとともに、未実施保育園においても気軽に相談できる体制づくりを進める。
18	児童委員・主任児童委員の相談活動	主任児童委員は、区域担当児童委員と連携し、地域の中で住民とともに地域の子どもたちと子育て家庭を支援する役割を担う。 ＜主任児童委員の主な活動＞ 1 個別援助活動（相談対応等） 2 児童健全育成活動（関係機関・関係者との連携） 3 子育て支援活動 （地域における子育て支援の環境づくり）	児童にかかわる諸問題に関する対応のあり方や役割について、共通の認識を深めるとともに主任児童委員としての資質向上に努める。

19	長岡市ファミリー・サポート・センター会員養成講習会	<p>ファミリー・サポート・センターの新規会員の確保と資質の向上を図るため、会員養成講習会を開催する。</p> <p><内容></p> <p>1 センター事業のあらまし</p> <p>2 心の発達とその問題</p> <p>3 保育の心</p> <p>4 子どもの身体の発育と病気</p> <p>5 ほ乳と食事</p> <p>6 子どもの事故と防止対策</p> <p>※ファミリー・サポート・センター…</p> <p>家庭や働く親の育児負担の軽減と仕事との両立を支援するため、専任の職員（保育士）を配置し、相互援助活動（会員の紹介）及び会員相互の交流会等の事業を行なう。</p>	<p>全市的な活動の展開と事業の定着化を推進するため、継続して実施する。</p>
20	ちびっ子広場まちなか保育園	<p>雨天時や冬季間の子どもの遊び場として整備したもので、施設の利用促進と有効活用を図るため、子育て支援施設としての機能を持たせた事業運営を行なう。</p> <p>1 施設の機能</p> <p>遊び場機能、保育機能、交流機能、相談機能、情報提供機能</p> <p>2 施設の内容（面積＝742㎡）</p> <p>ふれあいコーナー、交流サロン、絵本コーナー、会議室（わいわいルーム）、託児室、授乳室 他</p>	<p>1 施設利用者や子育てにかかわる団体・者の意見を取り入れながら、今後も子育て支援施設としての機能を充実させる。</p> <p>2 特別保育事業専門のまちなか保育園を開設（平成16年度）し、保育機能の充実を目指す。</p>
21	保育付事業の実施	<p>講習会及び諸会議の開催に際して、子育て中の保護者でも参加できるように、関係機関・団体に対し保育付き事業の実施を促す。</p>	<p>次世代育成支援対策行動計画の実施状況及び点検の場を通して、関係機関・団体に対し保育付き事業の実施を促す。</p>
22	次世代育成支援対策（少子化対策）地域行動計画の策定	<p>急速な少子化の進行等を踏まえ、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図るため、「次世代育成支援対策推進法」が平成15年7月に制定された。これにより、市町村は、目標及び目標達成のために実施する内容等を定めた「行動計画」を平成16年度に策定する。</p> <p>1 行動計画の内容（盛り込む事項）</p> <p>(1)地域の子育て支援</p> <p>(2)母子の健康の確保</p> <p>(3)教育環境の整備</p> <p>(4)生活環境の整備</p> <p>(5)職業と家庭の両立支援</p> <p>(6)子どもの安全確保</p> <p>(7)要保護児童への対応 等</p> <p>2 計画期間</p> <p>平成17年度から10年間（5年後に見直しする）</p>	<p>1 計画の実施</p> <p>2 実施状況の点検及び推進体制の構築等</p> <p>3 次世代育成支援対策地域協議会（仮称）の活用</p>
23	子育てフェスティバル	<p>市民に子育てに関する情報や交流の場を提供し、子育てに対する市民の関心を高めるために開催する。</p>	<p>実行委員会主導（市民参加型）の事業展開を、今後も継続して実施する。</p>
24	虐待防止ネットワークの構築	<p>児童虐待に関する意識啓発と予防、防止対策を推進するため、「長岡の子どもを虐待から守る連絡会」を設置し関係機関のネットワーク化を図る。</p>	<p>「長岡の子どもを虐待から守る連絡会」の効率的な運営を通して、児童虐待に対する意識啓発（情報提供）と予防、早期発見に努める。</p>
25	保育園・幼稚園にインターネットパソコン配備	<p>保育園の情報や子育て支援等の情報を広く発信するため、年次計画を定め、保育園にインターネットパソコンを整備する。</p>	<p>年次計画に基づき整備</p>

健康課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
26	(仮)不妊治療費の助成	不妊治療を行っている者の経済的負担の軽減を図るため、不妊治療に要する費用の一部を助成する。	具体的な取り組みについては、県・国の動向を見ながら検討する。
27	母子健康手帳交付	妊娠届をした妊婦に母子健康手帳を交付し、保健指導・相談を行なう。	交付見込み数 2,000冊
28	乳幼児健診・成人の健診での受動喫煙の情報提供	乳幼児健診：5～6ヶ月児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診を毎月実施。乳幼児の健全な発育の確認と保育者への育児相談等を目的に行っている。 基本健康診査：19歳から64歳までは集団健診で、また65歳以上は医療機関での個別健診として実施している。	各種の健診時に受動喫煙の害や分煙についての情報提供に取り組む。
29	パパママサークル	初妊婦と配偶者を対象に、2日コースの講座を開催。父親と母親で子どもを産み育てようという意識を育て、父親の育児参加を促す。妊婦配偶者同士の交流を通して仲間づくりをはかり、妊娠中の不安やストレスを軽減する。	実施回数：年5回夜間2日コース 参加人数：実 妊婦200人 配偶者200人 実施回数を増やし、より多くの妊婦・配偶者が参加できるようにする。
30	高脂血症予防事業	動脈硬化や脳卒中などの生活習慣病と深い関係のある高脂血症について正しい知識を習得するとともに、食事、運動等の生活習慣を見直す動機づけになるような教室を実施するもの。	教室実施回数の増加 (1)ヘルスアップ教室 実施地区数：32地区 実施回数：32回（半日コース） (2)高脂血症個別健康教室 実施回数：年1～2回（6回コース）
31	糖尿病教室	医師・栄養士等の講義、運動実技、調理実習等を通して、糖尿病に関する知識の習得と、食生活・運動等生活習慣を見直し、自己管理を実践するための基本を学ぶもの。	1 健康センターでの中央開催 2 隔年で市内全地区開催 3 医師会、栄養士会等、糖尿病医療に関わる機関との連携を図りながら効果的、継続的に教室を実施する。
32	健康教育	地区担当保健師が地域ニーズに応じた健康教育を立案し公民館や老人クラブ等の活動と共催で実施。	全地区1回以上実施。青年期に対してはまず知識の普及を図るために事業のPRをし教室への参加を増やす。
33	電話等による健康相談	健康センターにおいて、保健師及び看護師、栄養士等が電話による健康相談を行なうとともに、精神福祉相談員による面接相談を実施する。	毎日電話相談、月1回の面接相談を継続実施 (1)情報提供 ところの相談ができる窓口の情報の整備 (2)相談スタッフの質の向上 相談技術のスキルアップ研修、ところの相談ガイド等の作成 身近な相談の場であることの広報活動
34	あなたの健康相談室	心身の健康及び栄養や食事に関する相談に応じて必要な指導助言を行ない、家庭における健康管理に資することを目的に、健康センター内に月2回開設する。 電話で事前予約をとり、来庁者に対して個別相談をする。	健康センター・各支所で実施回数等実施方法は今後検討

35	総合相談会すこやかステップ	<p>基本健康診査の結果等で、生活習慣を改善する必要がある人を対象に、具体的な行動変容を支援する指導を行なう。保健師・栄養士・運動指導員が個別相談を行ない、参加者が実行可能と思える行動計画を一緒に立てる。</p> <p>希望者には数ヶ月後に、再検査を行ない、数値の変化や参加者自身の変化等で、評価を行なう。</p>	<p>実施地区の増加（全地区開催）、実施内容の充実</p> <p>(1)基本健康診査の結果をグラフで参加者に提示し（視覚的にわかりやすく）、参加者自身が自分の状態をより理解できるようにする</p> <p>(2)基本健康診査の結果、再検査の結果、翌年の基本健康診査の結果と、継続して評価できるようにする</p>
36	基本健康診査	<p>19歳から64歳までは5月～10月頃までに公民館小学校で集団健診を実施している。</p> <p>65歳以上は5月～2月までかかりつけ等の医療機関で個別に健診を実施している。</p>	<p>個別健診を進めデータ管理も含め健診結果を個人の生活に合わせて判定してもらおう。</p> <p>また、身近で自分のことをよく理解してくれる信頼できる家庭医を持つことをすすめ、一貫した健康管理へ結びつけていく。</p>
37	健診後事後訪問・訪問指導事業	<p>基本健康診査で健康管理上指導が必要と認められる人とその家族に対し、健康的な生活習慣の確立のための指導を行ない、健康の保持増進を図る。</p> <p>生活の場において、個人の状況に応じた指導を行ない生活習慣の見なおしをし、受診など必要な行動が取れるようにする。</p> <p>家庭において要介護状態にならずに自立した生活を送ることができるように高齢者宅を訪問して保健指導を行なう。</p>	<p>訪問件数の増加（H19予定） 実人数：2,330人、延人数：3,700人 要指導者：523人 閉じこもり予防：1,570人 介護家族者：175人 寝たきり者：35人 痴呆性老人：15人 その他：12人</p>
38	足腰お達人教室	<p>要介護状態の原因の一つである転倒・骨折の予防を目的に、下肢筋力の維持向上のための軽体操（ストレッチや簡単な筋肉トレーニング）やレクリエーションを行ない、運動習慣の動機づけや仲間づくりを図る教室を実施する。</p>	<p>教室実施地区数の増加 H19年度 20地区 実施回数：368回 参加人数：延 6,080人</p>
39	健脚度測定調査事業	<p>運動機能の低下が高齢者の転倒の要因となることから、健脚度（歩行能力、バランス能力、筋力測定等）を測定調査し、長岡市の高齢者の現状を把握するとともに、参加者に対して、転倒予防の啓発と動機づけを行なう。</p> <p>また調査データは市として今後の転倒予防を含む介護予防事業の展開や対策に活かすための基礎データとする。測定調査年度は14・15・17・24年度で、調査データは医療専門機関に分析を依頼する。</p>	<p>17年度 調査年度 18・19年度転倒予防啓発事業的的事业</p>
40	サークル支援事業	<p>既に地区で継続的に活動するサークル等に対して、健康づくりの講話や軽体操などのプログラムの提供と講師の派遣を行なう。</p>	<p>支援団体数の増加 H19年度 20団体</p>
41	市民への広報・長岡市ホームページの活用	<p>長岡市が実施している各種教室、相談等を市民に周知する。</p>	<p>ポスター等を地区公民館・コミュニティセンターのほか、体育館等広く市民が利用する施設にも掲載を依頼する。</p> <p>記載内容、デザインの工夫をし、市民が参加したくなるようにする。</p>

42	受動喫煙防止対策	平成15年度、長岡市受動喫煙防止対策調整会議を設置し、多数の者が利用する市有施設の受動喫煙の防止に必要な対策を検討した。	1 市政だよりでの周知 2 啓発用ポスターの掲示 3 保育園、幼稚園の保護者会や保健だよりで分煙についての情報交換を行なう。 4 市PTA連絡協議会や老人クラブ等の広報誌で呼びかける。
43	地域健康づくり事業	地区の健康づくり組織の活性化を図る。 地区健康づくり推進委員会の設置。 地区担当保健師が地区の実情を把握し、住民と共に考えながら住民がつくる健康づくり活動を繰り広げる。	モデル事業は、「ながおかヘルシープラン21」見直し年（H19年）まで。
44	ヘルシープラン21ホームページ作成	「ながおかヘルシープラン21」の取り組みや進捗状況等についてのホームページを作成するもの。その中において、関係団体等の事業紹介を行ない、市民がみずからの健康づくりを行なうための支援をする。	「ながおかヘルシープラン21」関係団体等のHPをリンクし広く情報を提供する。
45	ヘルシープラン推進事業の会場利用推進	乳幼児連れのため移動に車が必要（乳幼児期の特殊性）、健診等の利用で第1子の親や転入者でも訪れやすい、乳幼児親子の学習や交流で利用しやすい施設が少ない。	市役所関係課の共催をできる限り検討し、健康センターの利用をすすめていく。
46	(仮) ストレス相談月間事業	5月頃にキャンペーンを実施。各種「こころの相談事業」と連携し、電話相談等を設け、マスコミ等でPRする。	キャンペーンを行なうには、「こころの相談」ができる各関係機関との協議が必要。 今年度は、「あなたの健康相談室」や電話相談を充実していくことで対応する。
125	(仮) コミュニティセンター乳幼児親子の居場所づくり事業	コミュニティセンターに乳幼児の親子の居場所をつくるとともに地域との交流を図る。(遊具や赤ちゃんのいる場所などの施設と、職員や地域ボランティアなどの受け入れ体制整備・地域の子育て支援の連携)	コミュニティセンターに遊具の整備・乳幼児の受け入れ体制の整備。
169	ハッピー体操指導者、サポーター養成事業	転倒・骨折予防について普及啓発させるために必要な知識や技術の習得を目的とした研修会を実施し、指導者や地域で実施する転倒予防事業の協力者を養成する。	指導者・サポーター研修会開催については養成状況を見て判断する。 また、既に研修会受講済の者に対し年1回程度のフォローアップ研修会を開催。
170	ハッピー体操指導者・サポーター派遣事業	ハッピー体操指導者・サポーターを地区等に派遣し、ハッピー体操等の指導を行い、転倒骨折予防に関する知識啓発・普及を図る。	転倒骨折予防の知識啓発・普及が目的のため、平成17年度の実施とし、それ以降は他の介護予防事業に組み込んで実施 平成17年度 派遣予定回数：年間60回 派遣地区：市内希望地区 老人クラブ等

環境政策課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
47	(仮) ホームページ「ごみから資源へ」	各地域・各団体の活動状況を把握し、連携した活動ができるように情報の提供を行なう。	「環境ネットワーク」づくりをより具体的にするために、団体同士が意見を言い合える場を提供して行く。
48	環境学習・啓発推進事業	ごみの減量など、環境に関する意識を高めるための学習会や講座を行なう。	啓発用パンフレットの作成などにより、多くの市民にPRを行なう。
49	環境まつり開催	ゴミの減量や、リサイクルの推進など環境に関する意識を高めてもらうために、広く市民に対し、楽しみながら環境について知ることができる催しを実施する。	その年の社会情勢などを考慮して、毎年テーマを定めて広く市民にPRをしていく。

環境施設課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
50	NPO等の環境センター使用	ごみの減量、リサイクルに取り組むNPOに活動拠点の場を提供することにより、その活動を支援する。	「廃食用油」をトラックに搭載したプラントの常駐作業所として使用する。

環境業務課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
51	ごみの有料化によるごみ改革事業	ごみの減量とリサイクルを進めるため、「プラスチック容器包装材の分別収集」や「粗大ごみのコール収集」と合わせて、「家庭ごみの有料化」を導入し、健康で安心快適な生活を目指す。	家庭ごみの有料化導入を進め、ごみの減量とリサイクルを進める。
52	指針作成	ごみの減量とリサイクルを推進するため、ごみになる物は買わない、ごみを出す前に再利用できないか考える、ごみを出す時はしっかり分別する。 市民として、できるだけごみを出さない、もったいないという意識啓発を図っていく。	「ごみの改革」進捗に合わせ、市民意識の高揚が図られ、ごみを出さない意識が大きく働いてくる。
53	リサイクル店の市民への紹介	資源の再利用、リサイクルを進めるために、ごみの減量化や堆肥化の方法や、リサイクル協力店の紹介など市民に必要な情報を提供し、普及促進を図る。	ごみの減量を図る方法として、生ごみ処理機の拡充は必要であり、補助金制度を拡充させ、事業の継続を図る。 又、リサイクル協力店制度を拡充させ、協力店を増やし市民の利用促進を図る。
54	市政だより・ごみ情報誌発行	ごみの減量とリサイクルを推進するため、市政だよりやごみ情報誌などを通して、市民意識の高揚、ごみ分別の推進を図る。	ごみ改革の進捗状況を検証し、ごみが減量したことや今後の事業計画などを盛り込んだごみ情報誌を継続発行していく。 随時、市政だよりを活用し、ごみ情報を提供していく。
55	電動生ごみ処理機への助成	資源の再利用を進めるため、電動生ごみ処理機の補助金制度を拡充する。	補助金制度を継続し、資源の再利用を進め、ごみの減量を図っていく。

観光課・長岡まつり協議会

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
56	長岡まつり協賛体育事業	長岡まつりをお祝いし、市民が日ごろの活動の成果を競うとともに、愛好団体相互の親睦を図り、健康体力づくりを推進することを目的に8種目のスポーツ大会を開催する。	実施種目：サッカー、相撲、弓道、ゲートボール、柔道、バスケットボール、駅伝、剣道 計8種目

都市政策課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
57	長岡市交通バリアフリー基本構想推進事業	1 交通バリアフリー法に基づき「長岡市交通バリアフリー基本構想」を策定した。 2 公共交通の中心である長岡駅を中心とした半径1kmの徒歩圏内を「重点整備地区」として、平成22年までに重点的かつ一体的にバリアフリー化を推進する。 3 鉄道事業者が長岡駅舎の誘導サインの整備等、バス事業者がノンステップバスの導入、道路管理者が特定経路の歩道整備等を行なう。	「長岡市交通バリアフリー基本構想推進委員会」を毎年1回開催し、事業の推進を図る。

公園緑地課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
58	公園整備、水辺プラザ整備事業等	子どもたちが安心してのびのびと遊べる場として、公園を整備する。	公園（悠久山公園、ふれあい緑道ほか）の整備

道路管理課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
59	バリアフリー歩行者空間ネットワーク整備事業	本格的な高齢者化社会を迎え、高齢者や障害者をはじめ、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを目指し、安心して移動できるバリアフリー化した歩道のネットワーク化を図るための歩道整備を年次計画で実施する。	駅周辺地区市道 千手地区市道 富曾亀・川崎地区市道
60	雪道計画推進事業	雪道計画設定エリア内の幹線道路の歩道が整備されている路線を選定し、歩道除雪等を実施する計画を官民一体となって策定し、歩行者空間確保を実施する。	中央地区、大島・希望が地区、上川西地区、富曾亀・栖吉地区、上組地区、日越地区、関原地区、青葉台地区、新組・黒条地区、山本地区、柿地区、石坂地区、太田地区、前川地区、岡南地区、下川西地区、福戸地区、才津・深沢地区、宮本・大積地区 計159.8km以上
61	信濃川左岸自転車・歩行者専用道路整備事業	市民が気軽に楽しく川に親んでもらうように、国土交通省では信濃川左岸地区で堤防上を舗装整備している。堤防整備の完了した区間について、長岡市が計画的に舗装部分を自転車・歩行者専用道として市道認定し、道路標識や車止め等を設置して供用開始を行なう。	未定

学校教育課

事業No・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
62	(小学校における) 環境教育	小学校の社会科や総合的な学習の時間などで、ゴミの減量化やゴミの分別の推進等、環境についての学習を行ない、環境教育の充実を図る。	ゴミをできるだけ出さないように、小学校の社会科や総合的な学習の時間などで、ゴミの行方調べや資源の再利用についての学習を行ない、ゴミの減量化やゴミの分別の大切さを学ぶ環境教育を推進する。
63	環境学習・啓発推進事業	小・中学校の総合的な学習の時間や特別活動などで環境教育を行ない、ゴミの減量化やゴミ分別等の啓発推進を図る。	小・中学校の総合的な学習の時間・特別活動などで環境教育を行ない、ゴミの減量化やゴミ分別等の啓発推進を図る。
64	性教育	人間尊重の精神を基盤として、児童生徒が発達段階に応じて性の科学的知識を理解し、健全な異性観を持ち、これに基づいて望ましい行動がとれることにより人格の形成、豊かな人間形成が図られるように、教育活動全体を通じて性教育を実施する。	各学校の指導計画に基づき、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の場で指導を実施
65	組織推進活動	児童生徒の心身の健康保持及び増進を図るためには、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいく必要がある。そこで、学校関係者、健康課、保護者等が児童生徒の健康問題について、情報を交換し、その対策等を検討する。	学校保健会長岡支部委員会の組織を生かし、児童生徒の健康実態について情報交換をする。また、各学校の学校保健委員会等を十分に機能させる。
66	フレンドリールーム	小・中学校の児童生徒のうち、不登校等で学校生活に適應できない児童・生徒に対し、学校生活への復帰を援助することを目的とする。	教育センター相談室と連携を図ることで、個別相談と訪問相談やフレンドリールームの指導の一体化に重点をおく。
67	長岡の人材教育	1 小学校（学校群方式） 3～7校で学校群を編成し、体育系では延べ9種類の体育的活動が組織され、希望した児童は他校の児童と一緒に指導を受ける。年間活動回数20回 2 小学校（単独校方式） 各学校で種目等を選択し、クラブ活動などの時間に月1～2回程度実施する。 3 中学校（学校群共通方式・学区群ブロック方式） 体育系種目が13種目用意され、短期集中型のアカデミー方式を含み年間20回程度の活動をする。	小学校体育系においては、児童が体育系種目を選択し、専門性のある指導者のもとスポーツに親しむ態度を養い、体力健康づくりに励む。 中学校においては、意欲のある生徒が自ら選んだ体育系種目に参加し、たくましく生きるための体力や気力の向上を図る。
68	飲酒防止教育	生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うために、教科保健、特別活動等を中心に飲酒防止教育を実施する。	各校の指導計画に基づき、教科保健（小学校6年、中学校3年）、学級活動における保健指導の場で指導を実施。
69	子どもサポートコール	不登校や非行問題行動など、学校や保護者だけでは解決できない諸問題が起きる中で、解決のための方法や相談をどこにしたら良いのか悩む相談者に対しての、総合相談窓口である。	学校教育課内に電話を設置し、コーディネータが対応する。 件数100件

70	教育相談、訪問相談	<p>教育相談（教育センター）児童生徒の対人関係、学業の問題、不登校、いじめ、心身に伴う就学上の問題などについて、面接相談や電話相談を実施する。また、視力障害などの相談も受けつけている。</p> <p>訪問相談 前年度年間30日以上欠席の児童生徒のうち、家に引きこもりがちな児童生徒の家庭を訪問し、児童生徒や保護者に対する支援・相談を実施する。</p>	<p>教育相談（教育センター） 相談内容：友人関係、学業の問題、不登校、いじめ等、視力障害 方法：面接相談、電話相談、訪問相談、 対象者：引きこもりがちな児童生徒 方法：家庭を訪問し、児童生徒や保護者に対する支援・相談</p>
71	家庭教育ノートの配布	<p>小・中学生の子どもを持つ父母に向けて、家庭での教育やしつけに関して、それぞれの家庭で考えていただきたいことをまとめた家庭教育ノートを小1・中1の児童生徒に配布し、父母から子育てのヒントとしてもらい、親教育の充実を図っている。</p>	各年度入学予定の全児童生徒
72	学校給食推進活動	<p>児童生徒の心身の健康保持増進を図ることを目的として、学校給食を管理運営し、健康教育（給食だよりの発行や栄養指導含む）を家庭や地域と連携を図りながら実施する。</p>	<p>全市立学校で栄養バランスのとれた給食を実施する。各校の食に関する指導の年間指導計画に基づき、関連教科や特別活動の場で指導を行なう。 給食だよりに加えて、日々の献立や栄養価を知らせるとともに食に関する情報を発信する。</p>
73	体力テスト	<p>各学校において、体力テストの結果を分析し、自校で不足している体力を「体育」「保健体育」はもちろんのこと、創意工夫をこらし、教育活動全体を通じて取り組む。</p>	全学校で体力テストを実施予定
74	学校教育（運動）	<p>運動嫌いにならないように体力向上を目指した授業の展開に努力している。 児童生徒が、自分たちでルールを考え、仲間と協力して学習を進めるなど、支援の工夫を教師が積極的に実施している。</p>	<p>運動嫌いにならないように体力向上を目指した授業の展開。児童生徒が、自分たちでルールを考え、仲間と協力して学習を進めるなど支援の工夫を教師が積極的に実施する。</p>
75	学校教育（保健等）	<p>教科指導 保健学習において、からだのしくみや健康安全への知識や関心意欲を育てる。教科以外での指導では、健康安全教育、食に関する指導、性に関する指導等で各学年の発達段階に応じた指導を実施する。</p>	<p>教科指導 保健学習において、からだのしくみや健康安全への知識や関心意欲を育てる。教科以外での指導では、健康安全教育、食に関する指導、性に関する指導等で各学年の発達段階に応じた指導を実施する。</p>
76	学校保健推進活動	<p>児童生徒の心身の健康保持増進を図ることを目的に、保健教育、保健管理活動を家庭や地域の関係機関等と連携を図りながら実施する。</p>	<p>各校の保健計画に基づき、保健教育、保健管理を実施。食に関する指導は、健康教育の一環として、教科、特別活動等の場で実施。</p>

生涯学習課

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
77 コミュニティセンター事業	乳幼児などの未就学児童を持つ若い母親を対象とした講座を開催し、子育てやしつけ、生活習慣などを学習すると共に、子育てからのストレスを解消し、地域の中に溶け込んでゆけるようサポートしていく。(地域コミュニティセンターで事業を実施する。)	市内31地区のコミュニティセンター全て実施できるよう計画していく。 実施地区：31地区 実施回数：100回 参加者人数：延べ3,000人
78 地域活動事業	子どもから高齢者まで、体を動かすことの楽しさ、体力の向上を目指しながら、仲間をつくり上げていくことにより、日常のストレスに対処し、健やかな生活習慣を身に付けていく。(地域コミュニティセンターで事業を実施する。)	市内31地区のコミュニティセンター全て実施できるよう計画していく。 実施地区：31地区
79 生涯学習推進・相談事業	1 人材バンク「まちの先生」を活用した公開講座の開催・各種生涯学習関連情報の収集及び提供（まちの先生、団体・サークル、講座・教室など） 2 学習相談	市内31地区のコミュニティセンター全て実施できるよう計画していく。 実施地区：31地区

中央公民館

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
80 家庭教育活動事業（幼児家庭教育講座）	幼児のしつけを中心とした学習機会を各保育園・幼稚園・コミュニティセンター単位に保護者に提供する。	未定
81 家庭教育活動事業（親も育つ子育てセミナー）	子どもたちが生き生きと力強く育つよう、社会の変化、家族の変化、価値観の変化等、子ども達を取り巻く状況を知り、それらに対応する家庭教育のあり方を学ぶ。	未定
82 青年教育活動事業	自主性、積極性、協調性の向上、社会、生活習慣の体得、社会参加や社会貢献に対する意識や他者に関する能力、公共心の向上等をふまえ、ディスカッションや体験学習、グループワークを主とした学習方法を行なう。 ①講座数：3～5講座程度/年 ②内容：国際交流、生活などの青年に特有の必要課題	未定
83 女性教育活動事業	1 さわやか大学：現代社会における必要な知識を深め、自ら生活を豊かにする能力・態度を養う。 2 うるおいライフ：日常生活をより豊かにするため、広い視野で新しい知識や生き方を学ぶ。 3 レディースゼミナール：女性リーダーの確保と地域活への活性化を図る。	未定
84 生涯学習推進大学	各地区における生涯学習事業の活発化を促すため、生涯学習関連講座などの企画・運営等に携わる「地域生涯学習推進員」を育成する。	未定
85 高齢者趣味の教室	趣味、創作活動の実践を通して、参加者相互の親睦と交流、自主活動の精神の育成を図る。	未定

スポーツ振興課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
86	施設設備の充実	市民が気軽に利用できる体育施設を計画的に建設することによって、健康・体力づくり活動の推進と明るく健康的な市民性の醸成を図る。	市町村合併の動向を踏まえながら、新しい長岡市にふさわしいスポーツ施設の建設を図る。
87	地域対抗スポーツ大会	地域スポーツ活動の成果発表の場として小学校区を基本とした各種スポーツ種目の大会を開催し、地域スポーツ活動の一層の充実とスポーツ愛好者の相互交流を図る。	実施内容については、市町村合併の動向を見ながら検討していく。
88	地域スポーツクラブ育成事業	地域スポーツ活動の推進母体となる地区体育協会の育成や組織の充実を図るほか、地域スポーツ活動推進の中核となる体育指導委員・推進員の資質向上のため研修会などの実施により、指導者や地域スポーツ団体の育成に努める。	長岡独自のコミュニティスポーツクラブ（仮称）の設立を推進するとともに、市町村合併の動向を見ながら新市における地域スポーツ活動の推進について検討を加える。
89	生涯スポーツ推進事業	<p>学齢期及びそれ以前の幼児期の子どもやその保護者を対象としたスポーツ活動の実施については、(勲)長岡市体育協会と連携しながら、「児童や親子の体操教室」を実施しているほか、体育協会の競技団体が実施するジュニアスポーツクラブやスポーツ少年団の育成などの活動支援を通じた青少年スポーツ活動の推進を行っている。</p> <p>また、高齢者を対象としたスポーツ事業については、ゲートボール大会、高齢者スポーツ大会の実施のほか、地区公民館と連携しながら地区高齢者の健康体操教室などの指導者派遣を行っている。</p>	市町村合併の経過を踏まえながら新市における事業の実施について検討する。
90	コミュニティスポーツクラブ育成事業	<p>平成12年9月に国が策定した「スポーツ振興計画」に基づき、いつでも・どこでも誰もが気軽にスポーツや健康づくり活動に参加できる体制の整備を提唱したことから、全国的に取り組みが始まっている。</p> <p>長岡市としても、今後地域スポーツ活動の中核的な取り組みと位置づけ「コミュニティスポーツクラブ」の設立に向けて事業を実施する。</p>	市町村合併の経過を踏まえながら効率的な事業実施について検討する。

青少年育成課

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
92	児童館・児童クラブ	<p>地域における青少年健全育成活動の拠点施設として、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、豊かな情操を形成する。(各小学校区に配置)</p> <p>また、小学1～3年生の留守家庭児童を対象に、適切な遊びや生活の場を与える児童クラブを主に児童館で実施する。</p>	<p>1 学校や地域と連携し、地域ぐるみで健全育成活動を行なう。</p> <p>2 子どもが主体となって活動できる場を提供する。</p> <p>3 児童クラブの人数増加に対応のため施設を確保するとともに、保護者や地域のニーズを調査しクラブの実施方法等を検討する。</p>

93	子どもふるさとふれあい広場事業	地域における社会体験学習等の活動を通して、子どもが自ら考え主体的に判断・行動する力である「生きる力」を育成し、併せて地域が主体となって子どもを育てる環境づくりを推進する。	地域における社会体験等を通して、子どもたちの創造力や自主性を育成するとともに、地域が主体となって子どもを育てる環境づくりを推進するため、地域の取り組みに対し、支援する。 (地域主導型事業の推進)
94	子どもフェスティバル	少年団体・関係団体との連携を深め、子どもたちや少年団体相互の交歓と理解を深める。	少子化傾向の要因もあり、参加者数が減少傾向にある現状において、地域子ども会や青少年団体などのニーズを把握し、日程・会場・内容等を検討し、決定したい。
95	ジュニアリーダー夏のつどい	自然の中で、同年代の仲間との集団宿泊体験活動を通して、「生きる力」と「豊かな心」を育み、友情を深め合う。	林間学校など自然体験を目的とする行事が盛んに行われていることから、学区を越えた「友だちづくり」など独自性のある事業展開を図りたい。
96	みんな友だち…5年生	恵まれた自然の中で、さまざまな自然体験活動を通して子ども会などのリーダーとして必要な知識・技術を学ぶ。	自然体験や集団生活など様々な活動をとおして、必要な知識・技術を習得した小学生リーダーの養成を目指す。
97	中学生夢さがし発見塾	中学生が主体的に社会体験に取り組み、地域社会との関わりを認識するため、身近なテーマについての調査活動をグループ単位で行ない、その成果を広く市民にPRできる場を提供する。	参加者の身近な地域社会での事業実施を基本に、地域の活動や中学校との連携を図りながら実施する。
98	ながおかポニーカーニバル	ポニーとのふれあいを通じて、青少年の健全育成を図るほか、乗馬療法による障害者の機能回復訓練に寄与するとともに、健常者と障害者の交流とボランティア育成を図る。また、今後の体験学習施設整備の検討材料とする。	常設ポニースクールが主体となって、「ながおかポニーカーニバル」を実施する。
99	少年相談活動（少年センター）	少年センターでは、非行、交友、学業や進路、男女交際、不登校、いじめなどの子どもに関する悩み事の相談に応じている。	学業支援や進路変更等の情報提供のほかに求職支援の情報提供

新潟県長岡健康福祉環境事務所

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
100	食環境整備推進事業	<p>外食の栄養成分表示協力店や加工食品の栄養成分表示等を推進することにより、住民自らが健康管理を行なえる環境を整備するとともに、住民の健康づくり活動を支援する。</p> <p>(1)外食栄養成分表示協力店の指定 (2)外食栄養成分表示協力店説明会の実施 (3)栄養成分表示の普及啓発事業 (4)集団給食施設の栄養成分表示の推進 (5)外食栄養成分表示協力店の巡回</p>	未定
101	国・県等の栄養実態調査	<p>国民の健康状態、栄養摂取と経費負担等の関係について調査し、国民の栄養改善の方策を検討するための基礎資料とする（国の指定があった場合実施）。</p>	未定
102	精神保健福祉相談	<p>精神障害者等の受療や社会復帰相談から、痴呆等の老年期、アルコール、ストレス等の相談まで対象とする。</p> <p>1 定例相談会 (1)嘱託医担当 (2)精神保健福祉相談員担当</p> <p>2 随時相談</p>	未定
103	痴呆介護支援ネットワーク事業	<p>痴呆性高齢者の早期相談体制の確立と関係機関が連携して共に痴呆介護の課題に取り組む地域介護体制の構築を図る。</p> <p>(1)物忘れ相談会 (2)事例検討会 (3)痴呆対策推進委員会</p>	未定
104	電話等による健康相談	<p>管内住民の健康の保持増進を図るため、随時、面接・電話による健康相談に応じる。</p>	未定
105	糖尿病合併症予防支援システム検討会	<p>地域における糖尿病支援システムを構築するため、保健所において検討会議を開催する。</p>	平成17年度 検討会：2回開催
106	難病患者地域支援対策推進事業	<p>難病患者及びその家族の療養上の不安解消とともに、安定した在宅療養生活の確保と生活の質向上のための支援を行なう。</p> <p>1 在宅療養支援計画策定・評価事業 (1)難病事例検討会 (2)難病関係職員研修会 (3)地域支援体制検討会 (4)その他</p> <p>2 訪問相談事業</p> <p>3 医療相談事業 (1)パーキンソン病のつどい（榎の会） (2)脊髄小脳変性症のつどい（SCD友の会） (3)全身性エリテマトーデスのつどい（のばらの会） (4)クローン病のつどい (5)潰瘍性大腸炎のつどい</p> <p>4 難病ボランティア</p>	未定
107	脳卒中情報システム事業	<p>「通報票」「調査票」の集計・解析をし、寝たきり予防のシステムとして有効に機能するよう情報提供、連絡調整を図る。</p>	未定

新潟県長岡土木事務所

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
108 (歩道) バリアフリー まちづくり事業	高齢者や障害者をはじめとし、誰もが安心して移動できる歩行者空間の確保を図ることを目的に、バリアフリーまちづくり事業整備計画を県・市の連携により策定し、県単事業で計画的にバリアフリー化した歩道整備を図る。	未定
109 県道の歩道整備事業	交通量が多く、大型車の混入率が高い主要地方道について、一般住民はもとより通学する児童・生徒の安全を図るために新潟県が計画的に歩道整備を図る。	未定

長岡市社会福祉協議会

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
110 在宅介護者のつどい	家庭で寝たきり高齢者や、重度障害児・者を介護している人を対象に、リフレッシュを目的とした旅行会を実施する。 日程には、在宅介護に関する講話の聴講と参加者相互で日頃の悩みや体験を語り合うグループ別懇談会等がある。	現在は、長岡市とその周辺市町村を対象に実施する広域圏事業として実施しているが、合併により市町村の枠組みを継続していく場合は、広域の中で検討が必要である。
111 総合相談援助事業	日常生活で生ずる心配ごとや福祉に関するあらゆる相談に適切な助言・指導を行ない、他の専門機関と連携して総合相談援助活動を実施する。 一般相談：月～金曜日 電話・来訪 法律相談 火曜日来訪のみ	内容の継続 なお、休日・夜間相談は行わず、他の実施相談所と連携していく。
112 地域福祉・在宅福祉サービス事業（ボランティア銀行）	高齢者や心身障害児・者などサービス実施を必要とする方を利用会員、熱意を持ってこの事業に協力いただける方を協力会員として市民主体の相互扶助活動を行なう。 市社協を実施主体に、概ね小学校区を単位として組織された地区福祉会・地区社会福祉協議会で活動を展開している。	H19年度見込 協力対象者（利用会員数）1,635人 協力会員数2,289人 利用者507人 年間総理用回数15,210回
113 ふれあい型食事サービス事業	地区内の高齢者等に対し、月1回から週1回の範囲で、定期的に食事サービスを実施する。実施地区のニーズに応じ、配食または会食の形態で行ない、現在市内全地区（29地区1団体）において実施している。	H19年度見込 対象者3,270人 利用者1,635人 総食数（年間食数）76,518人 全地区週1回の実施を目指して取り組む。
115 お茶のみサロン（ふれあいサロン、いきいきサロン）	地区内の高齢者等が公民館等の身近な場所に集まり、地域のボランティアも参加し、気軽に楽しい時間を過ごす仲間づくりの活動。	地区社会福祉協議会・地区福祉会の自主事業として継続する。

長岡市体育協会

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
116	市民体育祭	<p>広くスポーツの振興を図り、スポーツを愛好する市民が、日ごろの練習成果発表の場とするとともに、愛好団体が交流を図り、健康体力づくりを推進することを目的に24種目の大会を開催</p> <p>実施種目：バドミントン、サッカー、ソフトテニス、登山、テニス、ソフトボール、ボウリング、公式野球、水泳、ゲートボール、太極拳、陸上、軟式野球、卓球、弓道、ハンドボール、空手道、柔道、剣道、バレーボール、バスケットボール、スキー、体操、スポーツチャンバラ 計24種目</p>	<p>加盟団体との連携を図り、市民ニーズ合わせた開催種目や種別の増設を検討</p>
117	スポーツ教室・クラブ運営事業	<p>市民が生涯を通してスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、市民の健康体力づくりの日常化と仲間づくりを推進するため、主要体育施設における通年型のスポーツ教室・クラブを開設。</p> <p>1 開設施設：市民体育館、南部体育館、北部体育館、厚生会館、悠久山プール 2 開設コース：市民体育館14コース、南部体育館5コース、北部体育館4コース、厚生会館4コース、悠久山プール41コース</p>	<p>市民ニーズ合わせた開設施設や開設コースの増設を検討</p>
118	スポーツ少年団交流大会開催事業	<p>市内のスポーツ少年団が一堂に集い、日ごろの活動の成果発表と団員・指導者・母集団相互の交流を図ることを目的に、5種目の種目別交流大会及び3回の全体交流会を開催。</p> <p>1 種目別交流大会 開催種目：野球、卓球、剣道、バスケットボール（秋・冬）、バレーボール 計5種目6大会 2 全体交流会 開催内容：①アイアンマンスポーツチャレンジ、ジュニアスポーツクリニック ②ドッジボール ③インドアアスレチック 計3回</p>	<p>登録団体の状況をふまえた開催種目の増設や、全体交流会においては日ごろの活動種目を超えて交流を楽しめる開催内容の検討</p>
119	スポーツ少年団指導者育成事業	<p>スポーツ少年団の健全な発展を目指し、スポーツ少年団指導者の育成及び資質向上を図ることを目的に「指導者養成講習会」の開催及び6種目の「種目別指導者研修会」を開催。</p> <p>1 日本スポーツ少年団認定指導員養成講習会 内容：日本スポーツ少年団指導者制度に基づく資格認定講習会 14時間の理論・実技講習 2 種目別指導者研修会 開催種目：野球、サッカー、剣道、バスケットボール、少林寺拳法 計5種目</p>	<p>登録団体の状況をふまえ、種目別指導者研修会開催種目の増設を検討</p>
120	長岡の人材教育体育系指導者研修会	<p>少年期スポーツ活動の健全な発展を目指し、長岡市がすすめる人材教育に携わる指導者の育成及び資質向上を図ることを目的に「指導者研修会」を開催。</p> <p>実施内容 (1)「人材教育の取り組みについて」 (2)「ジュニア期における筋力トレーニング」 (3)「少年スポーツ指導とライフマネージメント」 「救急蘇生法」「少年期スポーツ指導と必要とされるトレーニングの知識」</p>	<p>実施内容の検討 共通研修内容及び実技研修内容との併用について検討</p>

長岡市食生活改善推進委員協議会

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
121	親子料理教室 健康づくりに役立つ食生活等を認識するため、子どもと取り巻く家族の食育推進のため実施する。	全地区で実施 受講見込み人数の増1,000人
122	健康料理教室 調理実習や講習会を通し、食生活の改善と健康意識の向上をはかり、食生活からの生活習慣病予防と健康づくりを目的とした料理教室を実施する。	全地区で実施 受講見込み人数の増1,000人
123	自主活動 幼児期からの正しい食習慣づくり、貧血予防食の料理講習会、牛乳・乳製品を使った料理講習会、バランスのとれた食事づくり講習会、減塩に関する普及講習会、運動・レクリエーション活動、高齢者食事サービス等ボランティア活動、食推地区研修会、在宅介護食のサポート等各地区で自主的に計画実施。	全地区で実施 参加予定人数1,000人

長岡市母子保健推進員協議会

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
124	母子保健推進員の家庭訪問 妊娠7か月の妊婦と2か月の赤ちゃんに対し家庭訪問し、地域の情報を伝え、子育ての相談をする。	全地区で実施 訪問予定3,600件
126	子育て支援地区活動 地区毎に育児講座や赤ちゃんのつどいを実施。	全地区で実施 コミュニティセンターを中心に連携を図り参加者を増やす。
127	母と子のつどい 年2回 親子の学習交流会の開催（会場健康センター）	テーマや回数を検討しながら実施する。

長岡市医師会

事業No.・事業名	事業概要	平成17年度～19年度予定
128	診療業務 かかりつけ医が、身体活動の重要性を話す（必要時個人指導する）	未定
129	不妊相談治療（産婦人科医療機関） 妊娠や出産の不安をなくすために、正確な情報の提供と産婦人科医院との先生との信頼関係を築き、相談・治療を受けることができる。	未定
130	糖尿病を知るつどい 長岡市及びその周辺地域の糖尿病患者及びその家族、一般の方を対象に、糖尿病についての予防・啓発を行ない、糖尿病にならないようにまた、より良き療養生活を送れるように援助する。	内容を充実していく。
131	すこやかともしびまつりの健康相談窓口開設 健康管理への支援として医師による健康相談を実施、あらゆる相談に対応する。	内容を充実していく。

長岡地域産業保健センター

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
132	訪問による産業保健指導	産業医選任義務のない小規模事業所で働く方に、健康のアドバイスを行なうことを目的に厚生労働省（新潟労働局）が医師会に委託して実施している。 事業所への医師、保健師の訪問・講話。(無料)	継続して事業を実施する。
133	産業保健情報の提供	産業医選任義務のない小規模事業所で働く方に、健康のアドバイスを行なうことを目的に厚生労働省（新潟労働局）が医師会に委託して実施している。 新潟産業保健推進センターから図書、ビデオ、作業環境測定機器等の貸し出し、ミニセミナーの開催。	継続して事業を実施する。
134	健康相談窓口開設診療所	産業医選任義務のない小規模事業所で働く方に、健康のアドバイスを行なうことを目的に厚生労働省（新潟労働局）が医師会に委託して実施している。 長岡労働基準監督署管内診療所 平成16年度は15ヶ所（うち1ヶ所を心療内科）とし相談の場を確保し、気軽に相談できる。(無料)	継続して事業を実施する。
135	各種会議等でPR	産業医選任義務のない小規模事業所で働く方に、健康のアドバイスを行なうことを目的に厚生労働省（新潟労働局）が医師会に委託して実施している。 各種会議でリーフレット等の配布。	継続して事業を実施する。
136	健康相談リーフレットの配布	産業医選任義務のない小規模事業所で働く方に、健康のアドバイスを行なうことを目的に厚生労働省（新潟労働局）が医師会に委託して実施している。 各事業所へリーフレットの郵送、持参 健康講話終了後のリーフレット配付。	継続して事業を実施する。

長岡市薬剤師会

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
137	薬事衛生指導員の講師派遣事業	薬事衛生指導員（長岡地区6名）が団体の申込により、薬事衛生等の講習を行なう。	実施回数の増加 長岡地区15～20回 青年を対象とした講習会も行なう。

新潟県栄養士会長岡支部

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
138	糖尿病献立集	糖尿病患者に外食及び市販食品の利用度についてアンケート調査をし、その結果、市販食品の利用率が高いと判明。高齢化社会、少数世帯で食生活も家庭内食から外食や調理済食品等の外部依存型へ移行している。 糖尿病患者が外食や市販食を正しく理解し食品管理ができるよう長岡の食習慣、食文化を取り入れた献立を発行する。	献立集の発行
139	地域の伝統料理集	近年、日本の食文化である行事食や地域に残る食文化を伝える人が少なくなった。 長岡管内9市町村の食生活改善推進委員と栄養士会長岡支部会員に行事食アンケートを行い、その結果を基に次世代に伝えたい郷土料理を選んで本にまとめた。	好評に付増刷したので、広くPRし販売する。
140	キッズ健康教室	生涯を通じた健康づくりを推進するため、学童期から適切な食生活を中心とした、望ましい生活習慣の形成が不可欠である。子ども自身が自らの健康づくりを実践できるよう支援する。	継続して実施する。
141	生活習慣病予防のための食に関するチラシ作成、配布	健康料理教室等を通じ、高齢者への食事アドバイスをす。パンフレットによる健康情報の提供。	継続していく。

子どもの虐待防止ネットワーク

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
142	子どもの虐待防止ネットワーク学習会・講座	子どもの虐待について学習すると共に、自分達に何ができるかを考えながら、防止の視点に立ち啓発活動を実施する。関係機関との連携。	子育てサークル、幼稚園、保育園、学校、コミュニティセンターでの啓発活動 親との話し合いの場の実施

長岡市助産師会

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
143	助産師会イベントいいお産の日	1 日常の育児によるストレスの発散を図ると共に、体力の増進、母乳分泌を促進するためアフタービクスの知識、仲間づくりにつなげる。 2 正しい食生活の基本を知ってもらい、離乳食作りの負担を減らす。	未定

長岡勤労青少年ホーム

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
144	勤労青少年の余暇活動事業	若者に人気のスポーツであるエアロビクスを通じて、健康維持と体力増進を図るほか、日頃の労務によって蓄積されたストレスの解消を目的としてエアロビクス教室を開催している。 なお、エアロビクス教室は、勤労後の余暇活動の充実のほか、勤労青少年ホームに集う同世代の若者同士の交流にも役立っている。	実施教室の増加、実施回数の増加、参加者人数の増加
145	ハートナビゲーションルーム	仕事上や生活上の悩みを抱えている若者が専門家のカウンセリングを受けることによって、健康で豊かな職業人生を送ることを目的として、厚生労働省が（社）日本産業カウンセラー協会に業務委託して実施している。相談日は毎週水曜日第5水曜日を除く。	従来どおり。
146	勤労青少年の余暇活動事業・料理教室	お酒の持つ危険性と有用性の両面を知ることにより、社会人にふさわしいお酒との付き合いを学ぶとともに、有用性の代表格であるリラクゼーション効果について、勤労後の余暇に上手に活用させる方法を学ぶ。	未定

長岡市小・中学校PTA連絡協議会

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
147	PTA活動	運動する機会を多く設け、楽しく体を動かせるよう指導しながら、子どもだけでなく、家族と共に行うことにより、ふれあいやコミュニケーションの時間も取れるように考えながら実施する。地域でのスポーツクラブの紹介。	各単P活動としてスポーツ教室の実施
148	各学校のPTA事業に保育を実施	核家族が多くなり、子育てがわからない、孤立、ストレスの増大など考えられる中、家族、地域での必要な子育て支援の実施。	市P連関係行事では保育をつける。単Pでの保育付行事。幼、保、小、中の連携

長岡市老人クラブ連合会

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
149	ウォーキングコースの整備、イベント開催	転倒・骨折の予防と下肢筋力の維持向上のための運動習慣の動機づけや仲間づくりを図る。	身近で安全なコースを設け、記録をとって県内、全国を旅行する。(ウォーキングマップの活用)
150	単位クラブ活動	足腰の老化を防ぎ、世代間の交流を通して運動週間の動機づけを図る。	実施地区の増加 実施回数120回 参加人数2,400人
151	健康維持スポーツ大会	手軽にみんなで楽しめる高齢者の活動にあった軽スポーツを行なう。輪投げ、ペタンク、スカットボール等を実施。	種目に変化を持たせる。

子育てライン三尺玉ネット

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
152	子育てサロン シャベリ場	子育てする中での不安、悩み、心配、不満などの解決、解消を目的として気軽に参加できるコミュニケーションのはかれる場を設け、情報交換、意見交換や相談などを通し、仲間づくりやカウンセリング効果を期待し実施する。	未定
153	マタニティ・新米・転入ママ講座	長岡（近郊含む）で子育てするために必要な子育て情報と民間口コミ情報、交流を目的に、三尺玉ネットのメンバーの子育て経験談や経験上伝えたい情報をわかりやすく伝える。公的な子育て情報は児童福祉課、健康課、企画課の協力を得て伝える。	その都度 反省点を生かした講座内容にする。 できれば転入ママ講座も乳幼児と学童の子どもを持つ親に分けて行なう。 受講者数：各30人（計90人） 実施回数：マタニティママ1回、新米・転入ママ（乳幼児）1回、転入ママ（学童）1回

NPO法人新潟マック

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
154	アルコール依存その他の依存からの回復講演会	アルコール依存、薬物、摂食障害その他依存からの回復及び再発したくない人のグループミーティングや個別指導による支援で、生きる意味を学び、社会復帰を目指す活動を広める。	グループミーティング 長岡地区年間回数620回 市民セミナー1回

NPO法人地域循環ネットワーク

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
155	エコグリーンクラブ事業	電気乾燥処理機で乾燥された生ごみを回収して、牛や豚等の飼料にしている。回収に応じて年2回、肉か卵として還元している。	実施世帯数の増加を目指す。
156	わりばしリサイクル事業	「わりばしメイト」として協力してもらっている飲食店などから出るわりばしを回収・分別して、パルプや炭の減量として利用する。	協力事業所の増加。わりばしを使用せず、塗りばし使用の増加の市民PR。
157	給食残さ再利用事業	長岡市内69の小中学校、保育園から、給食で出る野菜くずを回収して、牛や豚等の飼料として利用する。	協力保育園の増加を目指す。
158	古紙リサイクル事業	雑古紙100%使用で完全無漂白トイレトペーパーの普及。牛乳パック再生利用（ティッシュペーパー）も併用して頒布	使用世帯・事業所の増加を目指す。HP、イベント等で環境商品のPRを行なう。
159	資源・農業循環交流事業	長岡市柿町の味噌桶城址周辺の里道、里山の保全・復旧活動・わりばし・竹・そばがら・里山整備で出る間伐材・建築端材等を炭にする。 生ごみリサイクル等の循環型社会を構築していく仲間づくりとの交流の場として開催。	炭焼 毎週木曜日・月1回日曜日 エコグリーンフェスタ 7月下旬か8月に開催予定
160	廃食油再生事業	一般家庭・事業所から出る廃食油を回収して燃料として再利用する。	回収再利用の本格化を目指す。
161	ごみ減量ボランティア育成事業	わりばしメイトの活動を中心に各センターごとの協力体制を確立する。	わりばし回収ボランティアの募集。

男女（ひと）が共に生きる社会を進めるF&Mながおか市民会議

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
162	ジェンダー講演会、研修会等	本人が不妊でプレッシャーを感じず、また周囲がプレッシャーをかけない社会づくりを目指す。 命の大切さとともに、不妊や生まない選択（生き方）について考える機会の提供。	命の大切さとともに、不妊や生まない選択（生き方）について考える機会の提供、及び高等学校・大学等への対象拡大。
163	ジェンダー講演会・フォーラム等	子育て支援（育児休業の取得を含む）について市民や企業の意識を啓発していく。	みんなで楽しく子育てのできる環境づくり向上のための事業を実施。 1 少子化対策についての学習・研究 2 意識啓発事業 3 調査・研究

長岡市シルバー人材センター

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
164	高齢者就業機会確保事業	1 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供 2 高齢者の就業に関する調査研究、高齢者の就業に関する相談 3 臨時的かつ短期的な就業（雇用を除く）又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保及び提供 4 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用による）の無料職業紹介 5 就業に必要な知識・技能の付与を目的とした講習会の実施 6 その他 グリーン作戦等ボランティア事業親子料理教室等開催し、長岡の伝統料理や文化を、高齢者の知識と技術を通じて継承する。	1 受託事業の拡大 技術・技能・事務整理・管理・折衝外交・軽作業・福祉家事サービス等受託事業 2 就業機会創出員による就業開拓 3 高齢者生活援助事業の拡大 4 育児支援事業の開拓 5 講習会実施による技能向上 造園・ホームヘルパー養成、剪定、除草、草刈、冬囲い、ガーデンング、芝張り、襖張り、障子張り、毛筆、硬筆、料理、介護、包丁とぎ、着物の畳み方、応対、マナー、安全講習等 26 講習会実施

長岡市幼稚園協会

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
165	幼稚園子育て支援事業	幼稚園ごとに子育て支援事業の実施（育児相談や親子の遊びや交流の場）	実施幼稚園の増加と内容の充実を目指す。
166	インターネットパソコンの配備	幼稚園の情報や子育て支援の情報を広く発信するために、各幼稚園にインターネットパソコンを配備する。	実施幼稚園の増加と内容の充実を目指す。

越後ながおか農業協同組合

事業No.・事業名		事業概要	平成17年度～19年度予定
167	健康増進活動	運動を通じて地域住民とコミュニケーションを図る。	地区スポーツ活動の活性化。
168	健康増進活動	少人数、グループでの開催を可能にし、手軽に参加できる健康講話会を開催。健康についての関心を深める。	健康講話会実施地区の増加。
169	食生活の改善	食生活リーダーを中心に栄養改善指導の実施。	健康料理教室、実施地区の増加。